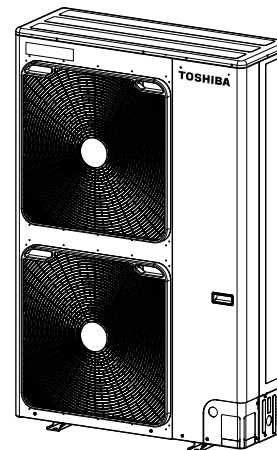


TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝パッケージエアコン 取扱説明書



EH99956501-2

形名

室外ユニット

<標準タイプ>

MCY-MAP1601H, HZ, HZG

MCY-MAP2241H, HZ, HZG

MCY-MAP2801H, HZ, HZG

<寒冷地タイプ 暖太郎>

MCY-MAP1601HN, HNZ, HNZG

MCY-MAP2241HN, HNZ, HNZG

●接続可能室内ユニット形名は3ページをご参照ください。

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意	2
接続可能室内ユニット	3
各部のなまえ 室外ユニット	3
室内ユニット	3
リモコンのなまえとはたらき	6
正しい使いかた	7
タイマー運転	7
オートグリルの操作方法	8
風向調節	8
セーブ運転	13
お手入れ	13
据付について	17
知っておいていただきたいこと	18
上手な使いかた	19
このようなときには	19
故障診断	20
別売付属機器について	20
仕様〔室外ユニット〕	21
仕様〔室内ユニット〕	22
保証とアフターサービス	28

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

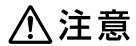
●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示の説明



警告

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容」を示します。

図記号の説明



禁止

○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- * 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- * 2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- * 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

警告

据え付け上の警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据え付けには専門の知識と技術が必要です。

ご自分で据え付け工事をされ不備があると、火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。

据え付けを依頼する

小部屋に据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う

限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

限界濃度を超えない対策をする

フロン類をみだりに大気中に放出しない

フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。



強制

別売品は必ず弊社指定の製品を使用する

加湿器などの別売品は、必ず弊社指定の製品を使用してください。指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



指定製品を使用する

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する

指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない

指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。



禁止

使用上の警告

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になります。



禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して手元電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ連絡する

異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。

手元電源スイッチを切る

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談すること。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する

エアコンに使用されている冷媒は安全です。

冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。



強制

警告

移設・修理などの警告

改造は絶対にしない

火災・感電などの原因になります。



禁止

修理はお買い上げの販売店に依頼するか、東芝エアコン空調換気ご相談センターに連絡する

修理に不備があると火災・感電などの原因になることがあります。



依頼する

エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据え付けに不備があると火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。



移設を依頼する

注意

据え付け上の注意

ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する

配管工事に不備があると水漏れをおこし、家財などをぬらす原因になります。ドレン排水を確認する



確認する

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。据付場所を確認する



確認する

漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取り付けが必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

漏電遮断器を確認する



確認する

室外ユニットが基礎に固定されているか確認する

基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。

固定方法を確認する



確認する

使用上の注意

エアコンを水洗いしない

感電の原因になります。



禁止

エアコンの風が直接あたるところに燃焼器具を置かない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。



禁止

高圧洗浄機などによるエアコン洗浄は行わない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



禁止

燃焼器具といっしょに運転するときは、こまめに換気をする

換気が不十分な場合は酸素不足の原因になります。



換気する

長期使用で据付台などが傷んでいないか確認する

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりけがなどの原因になります。据付台を確認する



確認する

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない

発火の原因になります。



禁止

エアコンの風が直接あたるところには動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になります。



禁止

室外ユニットの吸い込み部やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



禁止

掃除をするときは、必ず運転を停止して手元電源スイッチを切る

内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。

手元電源スイッチを切る



切る

食品・動植物・精密機器・美術品の保存などの特殊用途には使用しない

品質低下の原因になります。



禁止

エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する

誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗が不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ、感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。



指示

正しい容量のヒューズ以外は使用しない

針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。



使用する

ユニットの上には花瓶など水の入った容器を載せない

ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になります。



禁止

接続可能室内ユニット

室内ユニットタイプ		形名
天井カセット形	4方向吹出しタイプ	MMU-AP28*H, AP36*H, AP45*H, AP56*H, AP71*H, AP80*H, AP90*H, AP112*H, AP140*H, AP160*H
	2方向吹出しタイプ	MMU-AP22*WH, AP28*WH, AP36*WH, AP45*WH, AP56*WH, AP71*WH, AP80*WH, AP90*WH, AP112*WH, AP140*WH, AP160*WH
	1方向吹出し小形タイプ	MMU-AP28*YH, AP36*YH
	1方向吹出しタイプ	MMU-AP45*SH, AP56*SH, AP71*SH
天井埋込形	ビルトインタイプ	MMD-AP22*BH, AP28*BH, AP36*BH, AP45*BH, AP56*BH, AP71*BH, AP80*BH, AP90*BH, AP112*BH, AP140*BH, AP160*BH
	ダクトタイプ	MMD-AP56*H, AP71*H, AP80*H, AP112*H, AP140*H
天井吊形		MMC-AP45*H, AP56*H, AP71*H, AP80*H, AP90*H, AP112*H, AP140*H, AP160*H
壁掛形		MMK-AP28*H, AP36*H, AP45*H, AP56*H, AP71*H
床置形	サイドタイプ	MML-AP28*H, AP45*H, AP71*H
	ローボーイ埋込タイプ	MML-AP28*BH, AP36*BH, AP45*BH, AP56*BH, AP71*BH
	スタンドタイプ	MMF-AP45*H, AP56*H, AP71*H, AP80*H, AP112*H, AP140*H, AP160*H
天井吊形厨房用		MMC-AP80*PH, AP140*PH

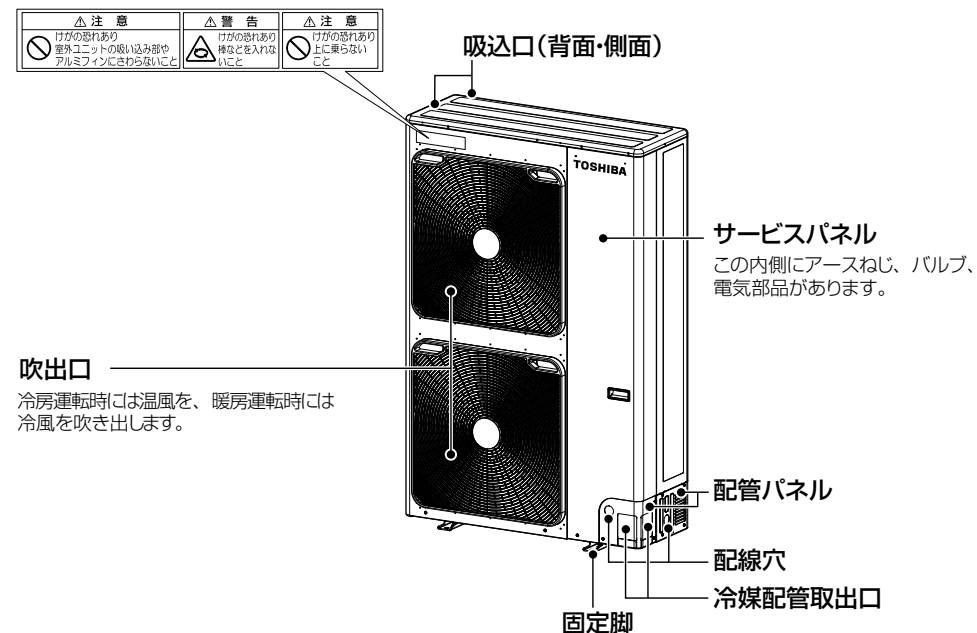
リモコン (別売品)

形名 RBC-AMT32 (ワイヤードリモコン)
RBC-AMS53 (省エネneoリモコン)

●ワイヤードリモコン以外のリモコンを使用する場合は、各リモコンに付属の説明書をご覧ください。

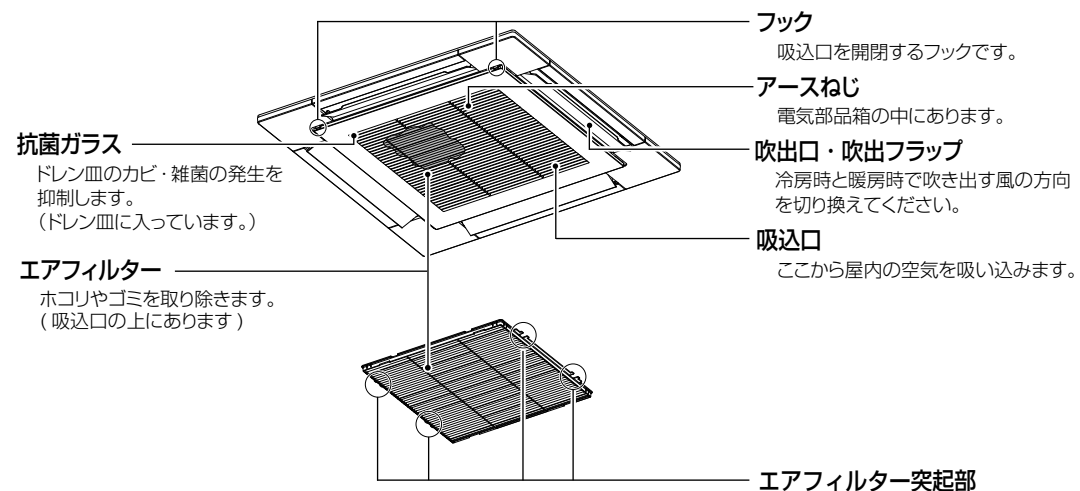
各部のなまえ

室外ユニット



室内ユニット

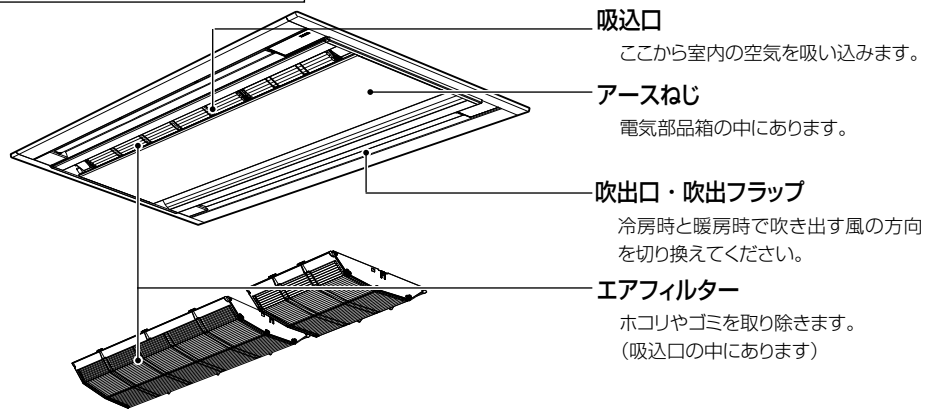
天井カセット形 4方向吹出しタイプ



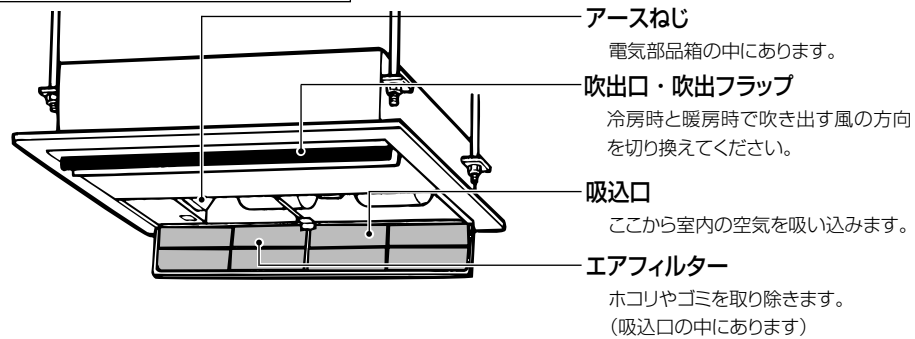
各部のなまえ (つづき)

室内ユニット

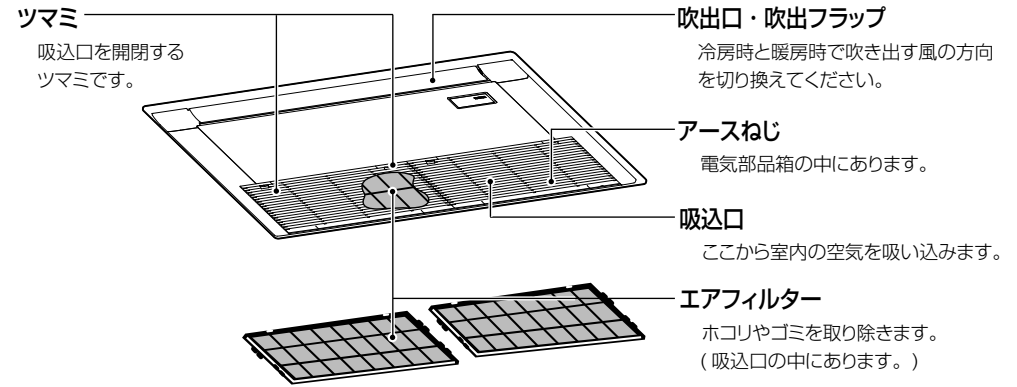
天井カセット形 2 方向吹出しタイプ



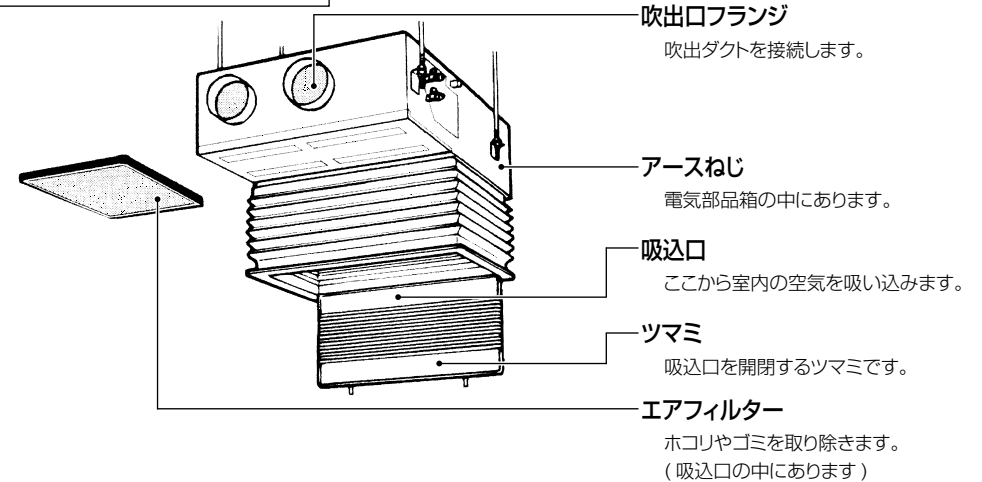
天井カセット形 1 方向吹出し小形タイプ



天井カセット形 1 方向吹出しタイプ

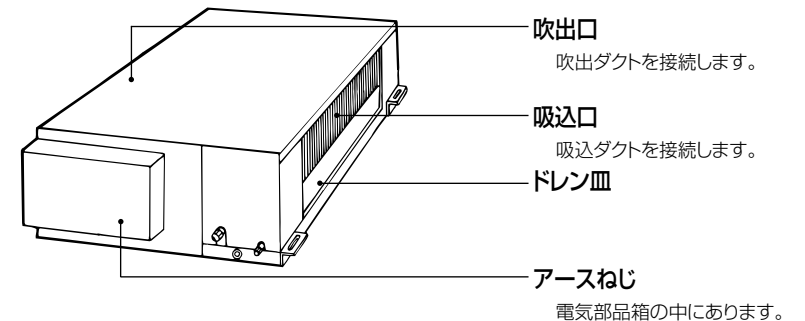


天井埋込形ビルトインタイプ



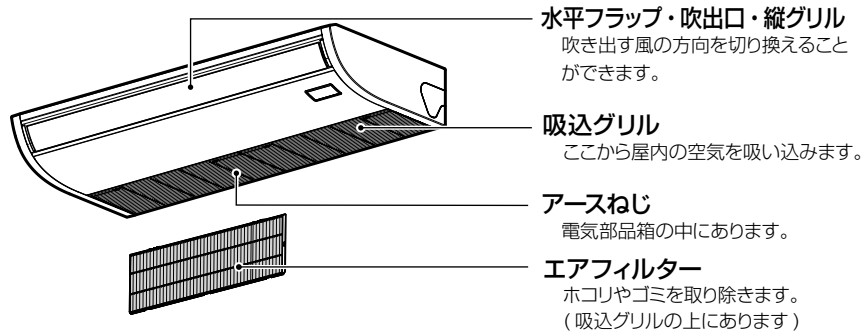
天井埋込形ダクトタイプ

P56 形～ P140 形

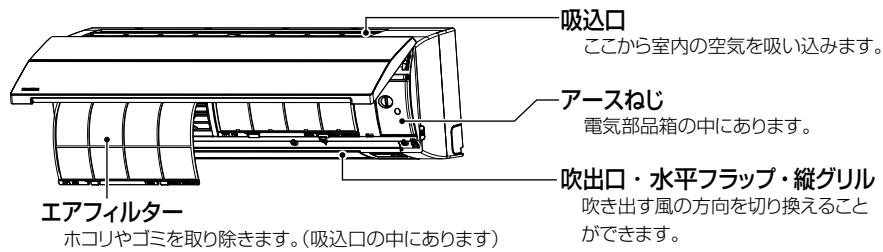


各部のなまえ (つづき)

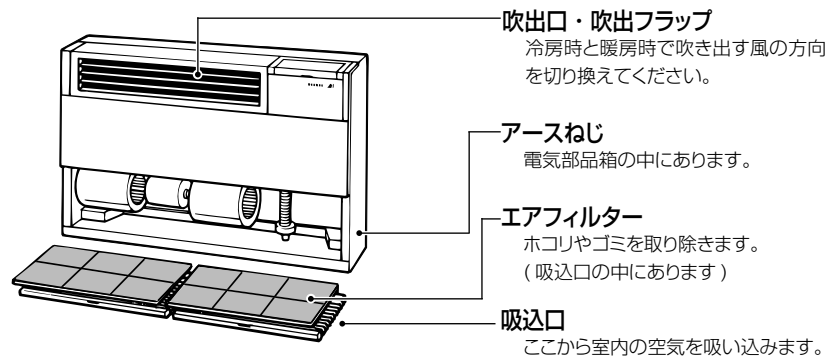
天井吊形



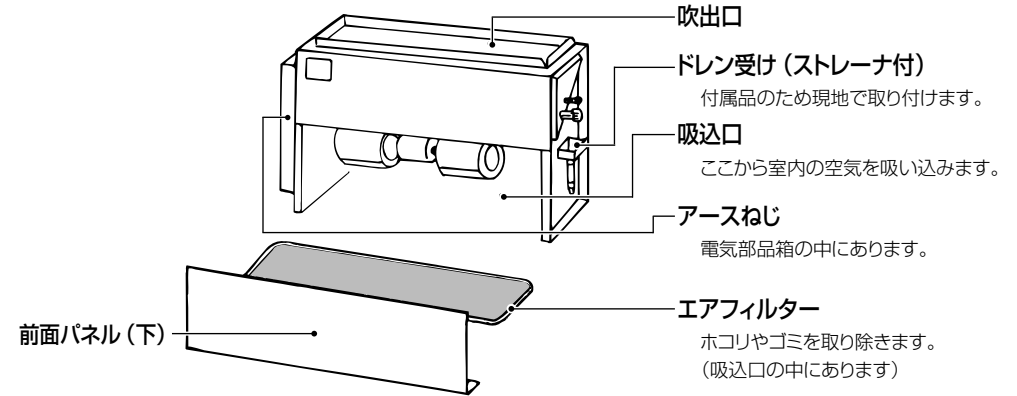
壁掛形



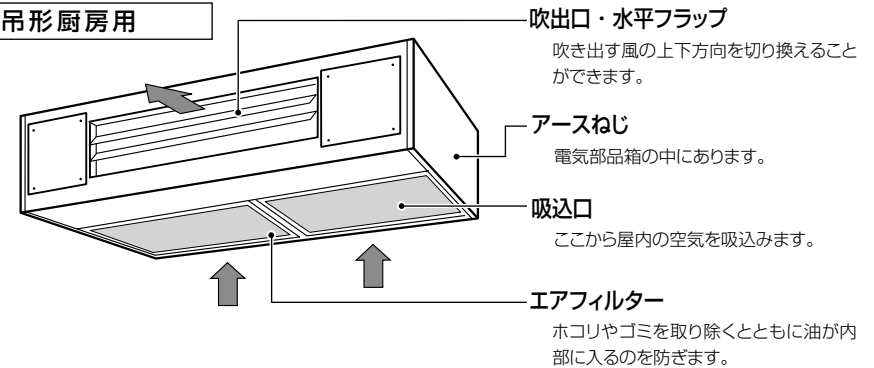
床置形サイドタイプ



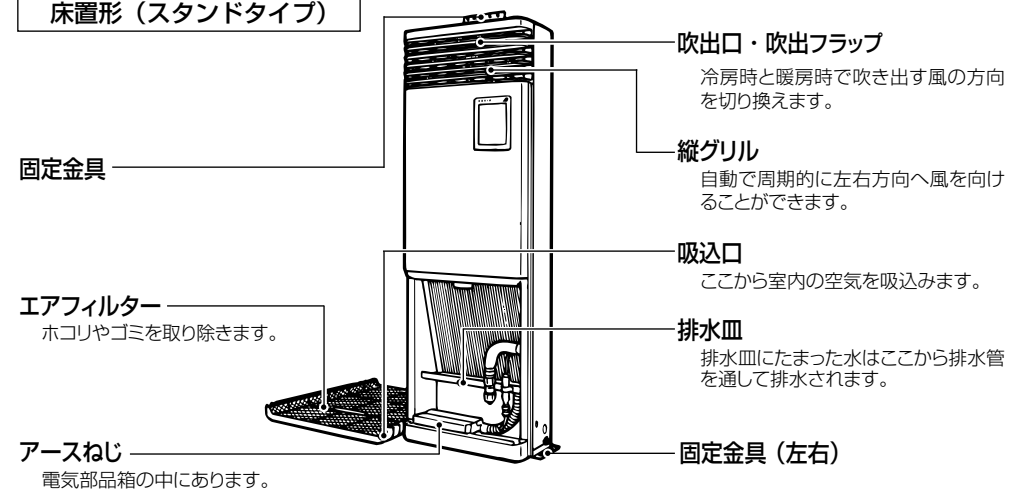
床置形ローボーイ埋込タイプ



天井吊形厨房用



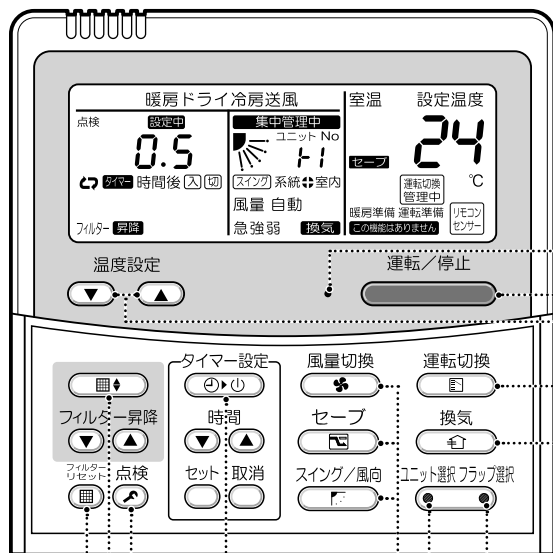
床置形 (スタンドタイプ)



リモコンのなまえとはたらき

操作部

- このリモコン1台で、室内ユニットを最大8台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転/停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



運転ランプ
運転中に点灯します。
異常時、保護装置動作時は点滅します。

運転/停止ボタン
ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

温度設定ボタン
室温調節をします。
▼▲を押してお好みの設定温度に合わせます。
おすすめ温度
冷房 (26~28℃)
暖房 (22~24℃)

運転切換ボタン
お好みの運転モードを表示選択します。

換気ボタン
市販の換気扇などを接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に「この機能はありません」が表示された場合は換気扇が接続されていません。

ユニット選択ボタン
1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルの操作時にユニットを選択します。

フラップ選択ボタン
フラップロックや風向調整を個別に設定する場合、フラップを選択します。
(天カセ4方向タイプ)

風量切換ボタン
お好みの風量モードを表示選択します。
●天埋ダクトタイプにはこの機能はありません。
風量急だけを表示します。

セーブボタン
セーブ運転時に使用します。

スイング/風向ボタン
自動スイングやフラップの角度を設定します。
●ビルトインダクト・天埋ダクト・床置形ローボーイ埋込・床置形サイドタイプ・天井吊形厨房用にはこの機能はありません。

フィルターリセットボタン
「フィルター」表示をリセット (消灯) します。

フィルター昇降ボタン
別売のオートグリルパネル・オートグリルキットを取り付けたときに使用します。
(天カセ4方向タイプ・天カセ1方向タイプ・天カセ2方向タイプ・天井吊形だけ)

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
●グループ制御時は設定しないでください。

表示部

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。
●手元電源スイッチを手元最初に入れたとき、リモコンの表示部に「設定中」が点滅します。
この表示中は初期設定中ですので「設定中」が消えた後リモコンの操作を行ってください。

お知らせ

●静電気により一時的に液晶表示部がにじむ場合があります。

運転切換表示
お好みの運転モードを表示します。

設定中表示
タイマー設定中などに表示します。

タイマー時間表示
タイマーの時間を表示します。
(異常時には点検コードを表示します)

点検表示
保護装置動作時および異常時に表示します。

集中管理中表示
集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。
集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき「集中管理中」が点滅し、変更を受け付けません。(集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコンの取扱説明書をご確認ください)

ユニット No 表示
ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニット No を表示します。

設定温度表示
選択した設定温度を表示します。

フラップ位置表示
フラップの位置を表示します。
(天カセ4方向タイプ・天カセ1方向タイプ・天カセ2方向タイプ・天井吊形・壁掛形だけ)

運転切換管理中表示
エアコンの管理者によって運転モードが冷房または暖房に固定されているときに「運転切換」ボタンを押すと表示されます。

リモコンセンサー表示
リモコンセンサー使用時に表示します。

運転準備表示
機種によって表示する場合があります。

機能なし表示
ボタンを押しても機能がないときに表示します。

暖房準備表示
暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

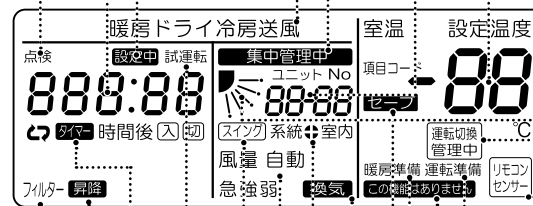
セーブ運転表示
セーブ運転中に表示します。

換気運転表示
市販の換気扇などを接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

フラップロック表示
フラップロックされたフラップが存在する場合に表示します。
(天カセ4方向タイプだけ)

風量切換表示
選択した風量モードを表示します。風量 自動・風量 急・風量 強・風量 弱のいずれかを表示します。
●天埋ダクトタイプは風量 急だけ表示します。

スイング表示
フラップの上下動作中に表示します。



フィルター表示
この表示が点灯したらエアフィルターの掃除をしてください。

昇降グリル表示
別売のオートグリルパネル・オートグリルキットを接続したとき、フィルター昇降ボタンを押すと表示します。
(天カセ4方向タイプ・天カセ1方向タイプ・天カセ2方向タイプ・天井吊形だけ)

タイマー設定表示
タイマー設定ボタンを押すと、
☑切タイマー → ☑入タイマー → ☑表示なしの順に切り換わります。

試運転表示
試運転中に表示します。

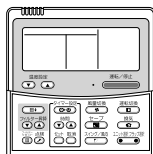
正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から **運転/停止** ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

手元電源スイッチを入れる

- 電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示され**設定中**が点滅します。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。



お願い

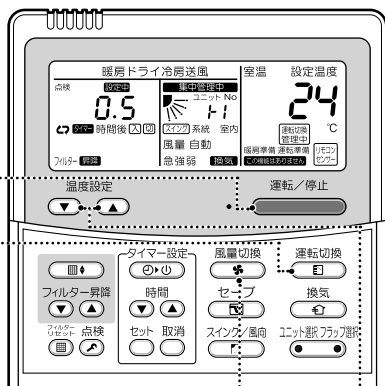
- 使用期間中は漏電遮断器を切らないでください。
- 長期間停止後、運転開始をするときは**12時間以上前**に手元電源スイッチを入れてください。

運転のしかた

1 **運転/停止** を押して運転する
●運転ランプが点灯します。

2 **運転切換** を押して「**運転の種類**」を選ぶ
●ボタンを押すたびに運転表示が変わります。
暖房 → ドライ → 冷房 → 送風
●天埋ダクトタイプには「ドライ」機能はありません。

3 **運転/停止** を押して運転を止める
●運転ランプが消えます。



風量を変えるとき

風量切換 を押して選ぶ

- 押すたびに表示が変わります。(送風時は風量自動を選ばません)
- 暖房時、風量「弱」で運転して暖まりがよくない場合は、風量を「急」「強」に切り換えてください。
- 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温の目安です。
- 天埋ダクトタイプには「風量切換」機能はありません。風量 急だけを表示します。

温度を変えるとき

温度設定 を押して選ぶ

- ▲**を押すと温度が上がり、**▼**を押すと温度が下がります。(送風時は温度の設定ができません)

おすすめの設定温度

暖房	22～24℃
ドライ	室温より2～3℃低め
冷房	26～28℃

お知らせ

冷房のとき

- 約1分後に運転を開始します。

暖房のとき

- 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
- 室内送風機は停止したままで3～5分間予熱運転した後、温風を吹き出します。(リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します)
- お部屋の温度が設定温度に達しているときは微風となり風量が極端に小さくなります。天埋ダクトタイプでは、風量は変わらず、送風を継続します。

タイマー運転

3つのタイマーの種類が選べます。(最大168時間の設定ができます)

切タイマー

繰り返し切タイマー

入タイマー

設定時間になると運転を停止します。 毎回、設定時間後運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。

タイマー運転のしかた

1 **タイマー設定** を押す
●ボタンを押すたびにタイマーの表示(種類)が変わります。
切 (切タイマー) → 繰り返し切 (繰り返し切タイマー) → 入 (入タイマー)
●**設定中**と時間表示が点滅します。

2 **時間** を押して「**設定時間**」を選ぶ
●**▲**を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)単位で増加します。1d(24時間)以上は1時間単位で増加します。上限は7d(168時間)です。
リモコンの表示は0.5時間から23.5時間(*1)までは設定時間の数字です。24時間以上(*2)は日数と時間で表示します。
●**▼**を押すごとに設定単位を0.5時間(30分)単位(0.5時間から23.5時間)または1時間単位(24時間から168時間)で減少します

リモコンの表示例

- 23.5Hの場合(*1)

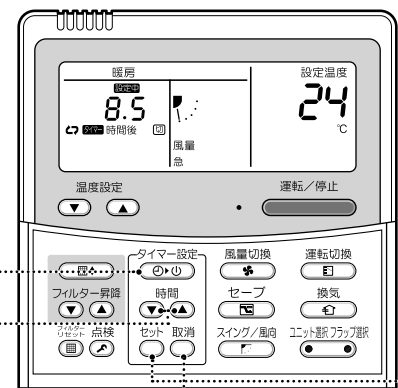
設定中
23.5

- 34Hの場合(*2)

設定中
1d 10h
日数 時間

1d は1日(24時間)を表わします。
10h は10時間を表わします。(合計34時間)

3 **セット** を押す
●**設定中**が消えて時間表示が点灯し、**☑**または**☒**が点滅します。(入タイマーのときは時間表示、**タイマー** 時間後**☑**以外の表示が消灯します。)



お知らせ

- 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再び**運転/停止** を押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。
- エアコンを切タイマー機能で運転中に**スイング/風向** を押した場合、タイマー機能の表示が消灯しますが、約5秒後に再点灯します。これは、リモコン内の処理によるもので、異常ではありません。

タイマー運転取り消しのしかた

取消 を押す

- タイマー表示が消えます。

オートグリルの操作方法

(天カセ 4 方向タイプに別売のオートグリルパネル、天カセ 1 方向タイプ・天カセ 2 方向タイプ・天井吊形にオートグリルキットを取り付けてある場合)

- 昇降グリルの操作(下降・停止・上昇)を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。
- オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルパネル・オートグリルキットに付属されている取扱説明書をご覧ください。

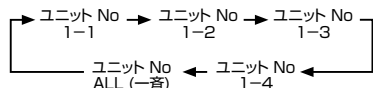
操作のしかた

1 **フィルター昇降** を 4 秒以上押し

- リモコンに“フィルター昇降”が点滅します。(室内ユニットの運転は停止します)
- ※この機能はありませんが表示されたとき、オートグリルパネル・オートグリルキットは接続されていません。

2 **ユニット選択ボタン** (ボタン左側) を押し、**操作する室内ユニットを選択する**

- 1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合(グループ制御)、リモコンに“ユニット No”が表示されます。
- ユニット選択ボタン** (ボタン左側) を押しすごとに次のように切り換わります。
(例) 室外ユニット 1 台に室内ユニット 4 台接続



3 **フィルター昇降** を押し

- 昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

4 **運転/停止** を押しして停止させる

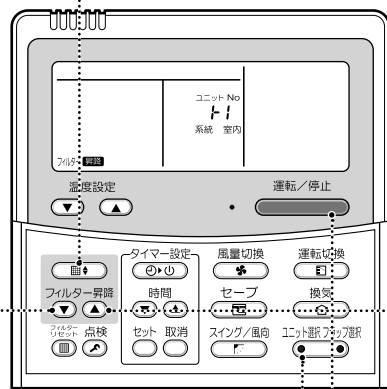
- 昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さずに下げていくと、約 2m 下降したところで停止します。
※下降中または上昇中に反対の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

5 **フィルター昇降** を押し

- 昇降グリルが上昇します。昇降グリルが吸込口に、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

6 **フィルター昇降** を押し

- リモコンの“フィルター昇降”が**設定中**が点滅します。
※昇降グリルが動作中に **フィルター昇降** を押しすると昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、**フィルター昇降** に戻ってください。



風向調節

冷暖房効果を高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。

空気の特性として冷たい空気は下にたまり、暖かい空気は上にたまります。

注意 冷房運転時はフラップを水平吹き出しの状態にする
下吹き出しの状態では冷房運転しますと吹出口やフラップの表面に露がつき、滴下する原因になります。

お知らせ

- 下吹き出しの状態では冷房運転しますとキャビネットや水平フラップの表面に露がつき滴下することがあります。
- 水平吹き出しの状態では暖房運転しますとお部屋の温度ムラが大きくなる場合があります。
- 水平フラップを直接手で動かすことはやめてください。故障の原因になります。水平フラップの向きはリモコンのフラップ運転スイッチで切り換えてください。

天井カセット形 4 方向吹出しタイプ・天井カセット形 2 方向吹出しタイプ 天井カセット形 1 方向吹出しタイプ・天井吊形・壁掛形の場合

風向きを設定するときは

運転中に **スイング/風向** を押し

●ボタンを押すたびに風向きが変わります。

暖房時
吹出フラップは 5 段階に調節できます。水平にしますと温風が足元まで届かないことがあります。

冷房・ドライ時
吹出フラップは 3 段階に調節できます。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。

送風時
吹出フラップは 5 段階に調節できます。お好みの風向に設定してください。

スイングさせるときは

スイング/風向 を押し、水平フラップ(上下風向調節板)の向きを 1 番下に設定し、もう 1 度 **スイング/風向** を押し

●**スイング** が表示され、フラップがスイングします。

スイングを止めるときは

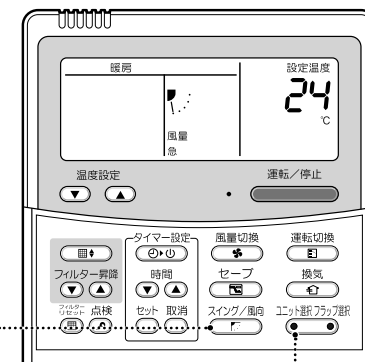
水平フラップのスイング中にお好みの位置で **スイング/風向** を押し

●その後 **スイング/風向** を押しすと再び風向きを 1 番上から設定できます。

※ただし、スイング中に **スイング/風向** を押しても下記表示となり、風向きを 1 番上に設定することができません。

スイングを止めたときの表示

この場合は、2 秒後にもう一度 **スイング/風向** を押ししてください。

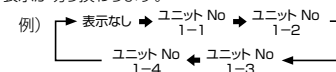


※冷房・ドライ時には水平フラップは下向きでは止まりません。スイング中に水平フラップ下向き状態で止めても、上から 3 番目の位置まで動いてから止まります。

スイングを止めたときの表示

ユニット選択ボタンについて

- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを運転している場合、室内ユニットを選択して、それぞれの室内ユニットの風向設定ができます。
- 個別に風向設定するときには **ユニット選択ボタン** (ボタン左側) を押し、グループ制御されている室内ユニット No を表示します。表示されている室内ユニットに対して風向きを設定してください。
- 表示なしの時は、室内ユニットを一齐に操作することができます。
- ユニット選択ボタン** (ボタン左側) を押しすごとに次のような順序で表示が切り換わります。



風向調節 (つづき)

冷暖房効果を高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。

(天井カセット形 4 方向吹出しタイプだけ)

フラップの個別設定をするには

1 運転中に **ユニット選択フラップ選択** (ボタン左側) を押し設定したいユニットを選択する

- ボタンを押すたびにユニット No が変わります。

例) 表示なし → ユニット No 1-1 → ユニット No 1-2 → ユニット No 1-3 → ユニット No 1-4

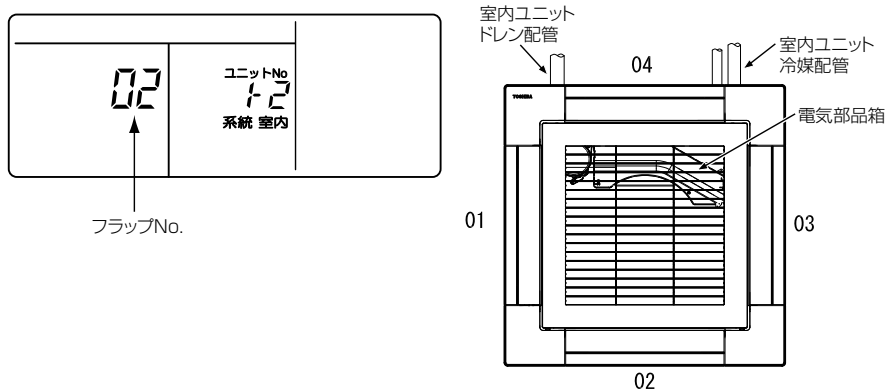
※ユニットNo表示なしは全ユニットを選択したことになります。

2 **ユニット選択フラップ選択** (ボタン右側) を押し風向を変更したいフラップを選択する

- ボタンを押すたびにリモコン左側の表示が変わります。

例) 01 → 02 → 03 → 04 → 表示なし

※表示なしの時はフラップ 4 枚を選択したことになります。



3 **スイング/風向** を押し、フラップの風向を決める

- ボタンを押すたびに表示が変わります。

例) ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦

※冷房 (ドライ) 運転時は④⑤の表示は出ません。

(天井カセット形 4 方向吹出しタイプだけ)

スイングの種類を設定するには

1 運転停止中に **スイング/風向** を長押し (4 秒以上) する

- **設定中** が点滅します。

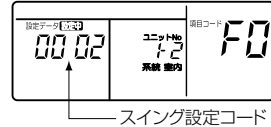
2 **ユニット選択フラップ選択** (ボタン左側) を押し設定したいユニットを選択する

- ボタンを押すたびにユニット No が変わります。

例) ユニット No 1-1 → ユニット No 1-2 → ユニット No 1-3 → ユニット No ALL (一斉) → ユニット No 1-4

選択したユニットのファンが回転し、フラップがスイングします。

3 タイマー設定の **▼ ▲** でスイングの種類を選択する



スイング設定コード	フラップの動き
0001	標準スイング (出荷時)
0002	デュアルスイング
0003	サイクルスイング

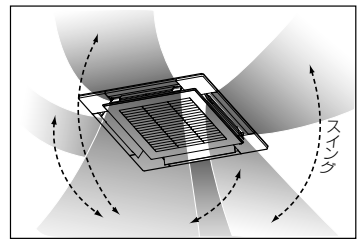
お願い

- 0000 の設定にはしないでください。(フラップが故障することがあります。)

4 **セット** を押す

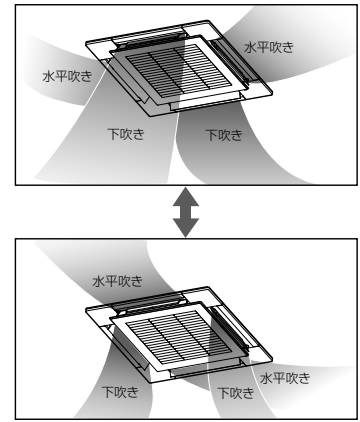
5 **点検** を押し設定を終了する

◎ **標準スイングとは**
4 枚のフラップが同じ角度で同時にスイングします。



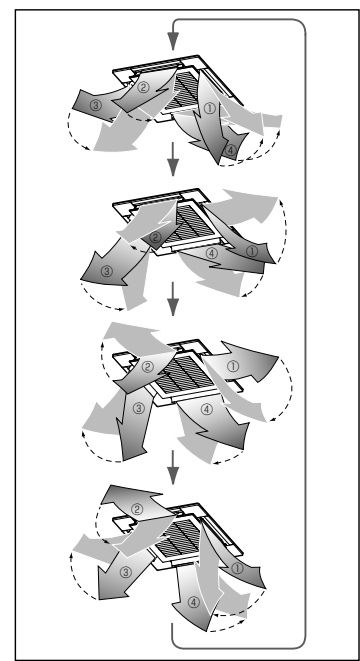
◎ **デュアルスイングとは (暖房におすすめです)**

- 隣り合うフラップが水平吹き・下吹きを交互に繰り返し、暖房時の温度ムラを解消します。
- 下吹きは床面まで温風が広がり、水平吹きは空気をかき回して温度ムラを抑制します。



◎ **サイクルスイングとは (冷房におすすめです)**

- 4 つのフラップが波打つように、時間差でスイングします。



(天井カセット形 4 方向吹出しタイプ)

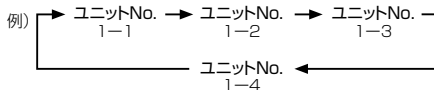
フラップロック (フラップ固定) の設定をするには

1 運転停止中に **ユニットフラップ選** (ボタン右側) を長押し (4 秒以上) する

- **設定中** が点滅します。

2 **ユニットフラップ選** (ボタン左側) を押し設定したいユニットを選択する

- ボタンを押すたびにユニット No. が変わります。

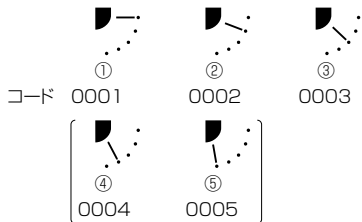


選択したユニットのファンが回転し、フラップがスイングします。

3 温度設定 **▼** **▲** を押して風向を固定させたいフラップの No. を表示させる

- 選択したフラップがスイングします。
- 「F1」 ↔ 「F2」 ↔ 「F3」 ↔ 「F4」 ←

4 タイマー設定の **▼** **▲** を押してスイングさせたくないフラップの風向きを選択する



※④⑤を選択すると冷房時に結露するおそれがあります。

5 **セット** を押して設定内容を確定する

- 設定が確定すると **+** マークが点灯します。
- (続けて他のユニットのフラップロックの設定をするには 2 の操作から繰り返し、同じユニットの他のフラップロックの設定をするには 3 の操作から繰り返します。)

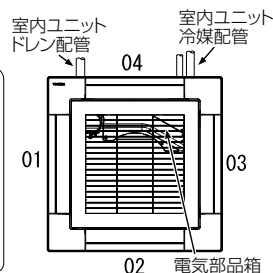
6 **点検** を押して設定を終了する



※リモコンには、項目コードの所に F1 という形で表示されますが図に示す 01 のフラップが選択されたことを意味します。

お知らせ

- フラップロックを行っていても次の時は一時的にフラップが動きます。
 - 1) 停止時
 - 2) 暖房運転開始時
 - 3) 除霜運転時
 - 4) サーモ OFF 時



フラップロックを解除するには

フラップロック設定の 4 で風向き
の設定を 0000 にする

- **+** マークが消灯します。

コード 0000

1 ~ 3 と 5・6 の操作はフラップロック設定と同じです。

風よけモードを設定するには

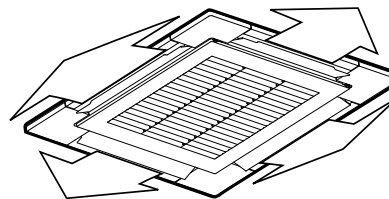
出荷時の風向設定は天井汚れ軽減するモードになっていますが、エアコンの下の席の人が寒く対策をしたい場合は「風よけモードの設定」を行うとエアコン真下への風落ちを防ぐことができます。

設定変更は、お買い求めの販売店にご相談ください。

天井カセット形 4 方向吹出しタイプ

冷房運転時

吹出フラップを水平吹き出しでお使いください。



- 停止時には吹出フラップが自動的に閉じます。

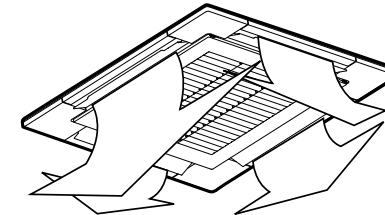
- 暖房準備時には吹出フラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンには暖房準備中でもスイング表示されます。

2 方向・3 方向吹き出しについて

お部屋の形状、配置に合わせて冷風、温風の吹き出しを 2 方向または 3 方向吹き出しにすることができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

暖房運転時

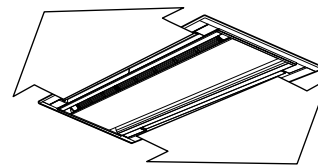
吹出フラップを下吹き出しでお使いください。



天井カセット形 2 方向吹出しタイプ

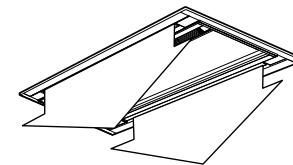
冷房運転時

お部屋全体に冷風が行きわたるように、吹出フラップを水平吹き出しでお使いください。



暖房運転時

足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを下吹き出しでお使いください。



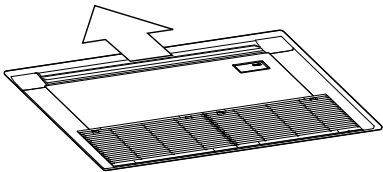
風向調節 (つづき)

冷暖房効果を高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。

天井カセット形 1 方向吹出しタイプ

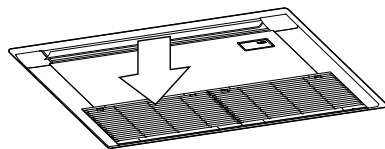
冷房運転時

お部屋全体に冷風が行きわたるように、吹出フラップを水平吹き出しでお使いください。



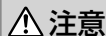
暖房運転時

足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを下吹き出しでお使いください。



- 停止時には吹出フラップが自動的に閉じます。
- 暖房準備時には吹出フラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンには暖房準備中でもスイング表示されます。

吹出口ユニット (別売品) と組み合わせ、前吹き出しで使用する場合



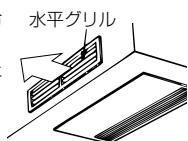
注意 室内ユニットと吹出口ユニットを組み合わせる場合は、「(前+下) 2 方向吹き出し」での使用はできません。吹き出し温度が低下し、水漏れの原因となります。取付方法の詳細は、別売品吹出口ユニットに付属の説明書をご参照ください。

天井カセット形1方向吹出しタイプで吹出ユニット (別売品) をご使用の場合は次の方法で風向調節を行います。

上下風向調節

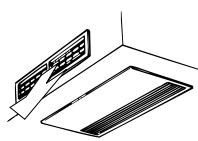
冷房運転時

冷房運転時は、お部屋全体に冷たい空気が行きわたるように、水平グリルを手で動かし、水平吹き出ししてお使いください。



暖房運転時

暖房運転時は、足元に暖かい空気が行くように、水平グリルを手で動かし、下吹き出ししてお使いください。



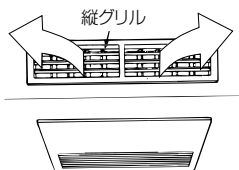
お願い

1. 下方向に風向調節する場合は、下図のように水平グリルを、一様に曲げてください。風の流れを妨げるような急な曲げ方をしますと、吹出口からの水滴落下の原因となります。
2. 水平グリルの傾き角度は 40° 以下にしてください。40° を超えると水滴落下の原因となります。



左右風向調節

水平グリルの奥側にある縦グリルを使用して、室内の温度分布が適当になるよう左右方向に風向調節してください。



お願い

左右方向に風向調節をする場合は、下図のように縦グリルを徐々に曲げてください。風の流れを妨げるような急な曲げ方をしますと、吹出口からの水滴落下の原因となります。

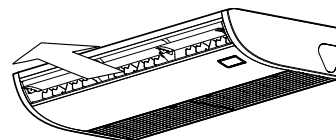


天井吊形

上下風向調節

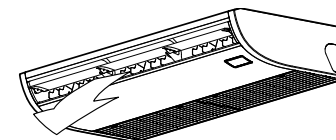
冷房運転時

お部屋全体に冷風が行きわたるように、吹出フラップを水平吹き出しでお使いください。



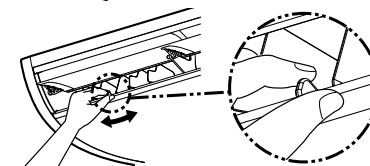
暖房運転時

足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを下吹き出しでお使いください。



左右風向調節

吹き出し方向を左右に変更する場合は、水平フラップの内側にある縦グリルをお好みの方向にむけてください。(取っ手を持って風向調節してください。)



お知らせ

- 下吹き出しの状態でも冷房運転しますと、キャビネットや水平フラップの表面に露がつき滴下することがあります。
- 水平吹き出しの状態でも暖房運転しますと、お部屋の温度むらが大きくなる場合があります。

天井カセット形 1 方向吹出し小形タイプ・床置形スタンドタイプの場合

風向きの設定とスイングのしかた

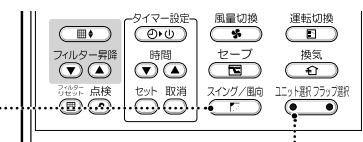
運転中に **スイング/風向** を押す

- スイング** が表示され、フラップがスイングします。

1 台のリモコンで複数の室内ユニットを運転している場合、室内ユニットを選択して、それぞれの室内ユニットの風向設定ができます。

フラップのスイング中にもう 1 度 **スイング/風向** を押す

- フラップをお好みの位置で止めることができます。



ユニット選択ボタンについて...

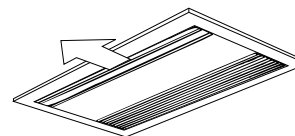
天井カセット形 4 方向吹出しタイプ他 (9 ページ) と同じ内容です。

天井カセット形 1 方向吹出し小形タイプ

上下風向調節

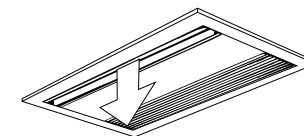
冷房運転時

冷房運転時は、お部屋全体に冷風が行きわたるように、水平吹き出ししてお使いください。



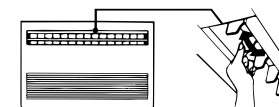
暖房運転時

暖房運転時は、足元に暖かい空気が行くように、下吹き出ししてお使いください。



左右風向調節

吹き出し方向を左右に変更する場合は、吹出フラップの内側にある縦グリルをお好みの方向にむけてください。



風向調節 (つづき)

冷暖房効果をも高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。

壁掛形

上下風向調節

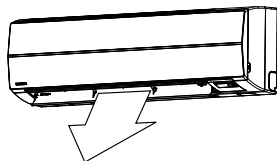
冷房運転時

冷房運転時は、お部屋全体に冷風が行きわたるように、水平吹き出しでお使いください。



暖房運転時

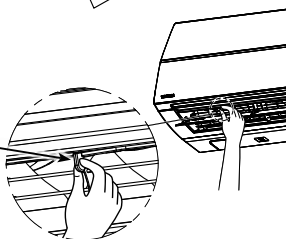
暖房運転時は、足元に暖かい空気が行くように、下吹き出しでお使いください。



左右風向調節

吹き出し方向を左右に変更する場合は、吹出フラップの内側にある縦グリルをお好みの方向にむけてください。

このツマミを手で左右に動かし、風向きを調節してください。

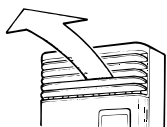


床置形スタンドタイプ

上下風向調節

冷房運転時

部屋全体に冷風が行きわたるように、吹出フラップを手で動かし、水平吹き出しでお使いください。



暖房運転時

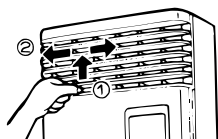
足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを手で動かし、下吹き出しでお使いください。



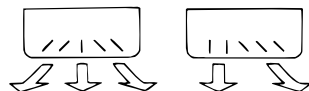
左右風向調節

風向を振り分けて使用の場合

軽く持ち上げ縦グリルの位置をお好みの方向へ向けておろしてください。



この場合は、オートスイング機能を使わず行なってください。



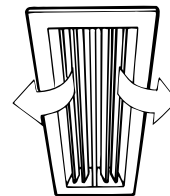
天井埋込形ビルトインタイプ・床置形サイドタイプ・天井吊形厨房用の場合

天井埋込形ビルトインタイプ

吹出口ユニット (別売品) をご使用のときは、次のように風向調節をしてください。

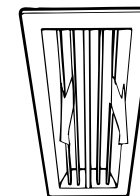
冷房運転時

お部屋全体に冷たい空気が行きわたるように、吹出フラップを手で動かし、水平吹き出しでお使いください。



暖房運転時

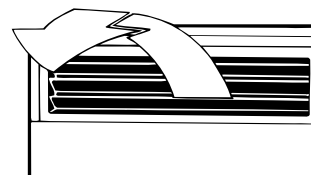
足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを手で動かし、下吹き出しでお使いください。



床置形サイドタイプ

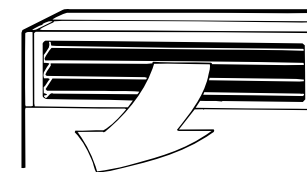
冷房運転時

お部屋全体に冷たい空気が行きわたるように、吹出フラップを手で動かし、水平吹き出しでお使いください。



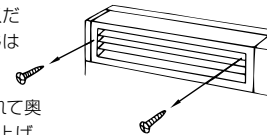
暖房運転時

足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを手で動かし、下吹き出しでお使いください。

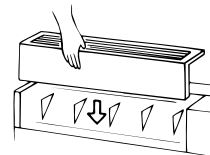


吹出口の変えかた 吹出口を変更する場合は次の手順で変更してください。

① 吹出口の固定ねじを2本はずしてください。(固定ねじは再使用します)



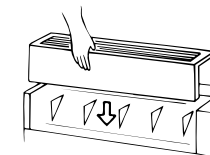
② 吹出口に手を入れて奥を上にし少し押し上げ、後のツメからはずしてください。



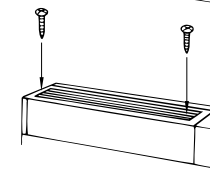
③ 吹出口を上方向に持ち上げてはずしてください。

④ 吹出口を反転して本体に取り付けてください。

(取り付けの場所は後2カ所、下2カ所のツメが引っ掛かるように注意してください。)



⑤ 必ずはずした固定ねじで締付けて吹出口がはずれないようにしてください。



風向調節 (つづき)

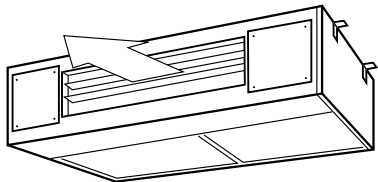
冷暖房効果を高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。

天井吊形厨房用

上下風向調節

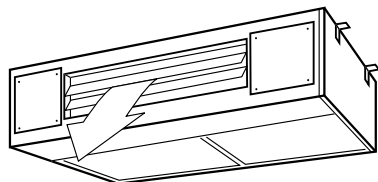
冷房運転時

お部屋全体に冷風が行きわたるように、吹出フラップを手で動かし、水平吹き出しでお使いください。



暖房運転時

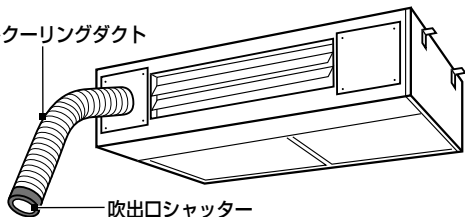
足元に暖かい空気が行くように、吹出フラップを手で動かし、下吹き出しでお使いください。



スポット空調

別売のスポットクーリングダクトを取り付けると、局所的な空調ができます。

スポットクーリングダクト

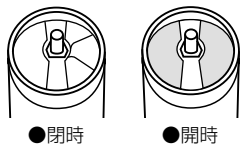


吹出方向の調節

ダクト先端付近を手で押してお好みの方向に向けてください。エアコン吹出口のフラップを閉め気味にしますと、より効果的です。

吹出口の開閉

必要に応じてスポットクーリングダクト吹出口のシャッターを開閉してください。



セーブ運転

セーブ運転をするには

運転中に **セーブ** ボタンを押す

- パワーをセーブしたセーブ運転モードになります。
- **セーブ** の表示が出ます。

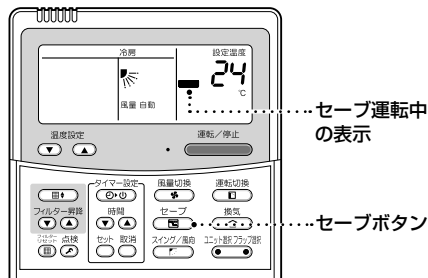
セーブ運転を取り消すときには、もう一度

セーブ ボタンを押す

- **セーブ** の表示が消えます。

お知らせ

- セーブ運転では、エアコンの能力をおさえた運転になりますので、よく冷えない(暖まらない)ことがあります。
- セーブ運転中に運転停止・運転切換・電源リセットを行っても、次回運転時セーブモードは保持されます。



お手入れ

お手入れをするときは、必ず手元電源スイッチを切ってから行ってください。

注意

補助電気ヒーター本体を水洗いしない
感電の原因になります。
(床置形サイドタイプだけ)



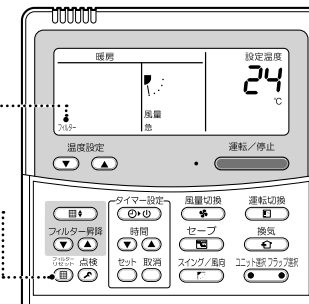
濡れた手でボタンを操作しない
感電の原因になります。



日常

エアフィルターのお掃除

- リモコンに「フィルター」が表示されたらエアフィルターのお手入れをしてください。
- エアフィルターの目づまりは、冷・暖房効果が下がります。
- 掃除が終了したら **フィルター** を押してください。「フィルター」表示が消えます。

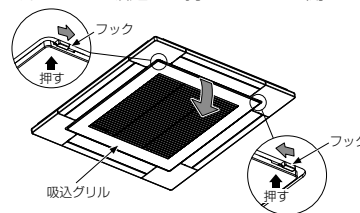


天井カセット形 4方向吹出しタイプ

- 昇降パネルをご使用の場合は、昇降リモコンで吸込口を降下させてください。

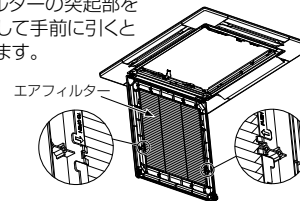
1 吸込口を開ける

- 吸込口のコーナーを押しながらフックを内側にスライドさせて、吸込口を持ってしずかに開きます。



2 エアフィルターを取り出す

- エアフィルターの突起部を内側に押し、手前に引くと取り出せます。



3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする

- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

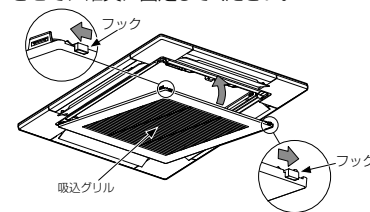


- 水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

4 エアフィルターを取り付ける

5 吸込口を閉じる

- 吸込口を閉じ、2つのフックを外側にスライドさせて、確実に固定してください。



オイルガードフィルターの掃除

- 2週間に一度は洗浄してください。
- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗ってください。
- 洗ったあとは、よくすすぎ日陰で乾かしてください。

お知らせ

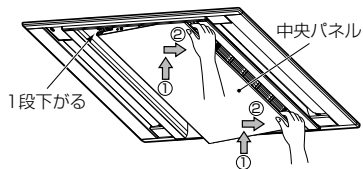
- オイルガードフィルターは油煙に対して優れた耐久性を発揮するもので、油煙を確実に捕集するものではありません。
- オイルガードフィルターの洗浄期間は、油煙濃度 3.5 mg/m³ の環境条件で算出しています。油煙の付着や汚れの状態により洗浄期間を変えてください。

エアフィルターのお掃除 (つづき)

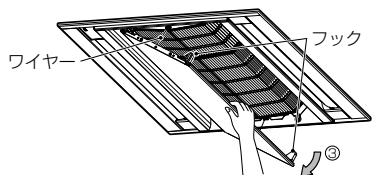
天井カセット形 2方向吹出しタイプ

1 中央パネルを開ける
中央パネルは開く方向が決まっています。中央パネルの縁を上にも押し動かす方が開口側、ほとんど動かない方が引掛側です。

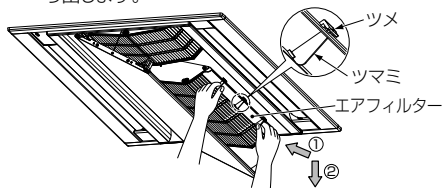
- 中央パネルの開口側の縁を①上にも押しながら②開口側に引きまします。
- 開口側に引くと引掛側が1段下がり、開口側のフックがはずれます。
※中央パネルは両端のフックに近い位置を持ち、片方ずつ開口側のフックをはずしてください。



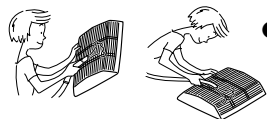
- 両端の引掛側が1段下がったことを確認したら、ゆっくり③下方に回転させて開きます。
※中央パネルは両端のワイヤーにたるみがない所まで開きます。



2 エアフィルターを取り出す
●エアフィルターのツマミを持って①斜め上方に押しながら②下に引き、中央パネルの開口部より取り出します。

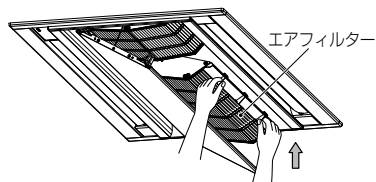


3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする
●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

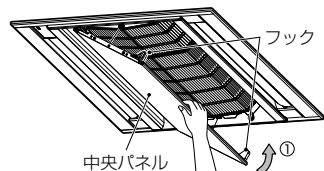


- 水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

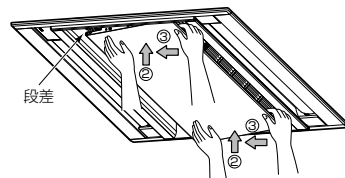
4 エアフィルターを取り付ける
●奥に当たるまでエアフィルターを入れます。ツマミを持って当たるまで持ち上げ、ツマミをはなして取り付けます。



5 中央パネルを閉じる
●中央パネルをゆっくり①上方に回転させて閉じます。



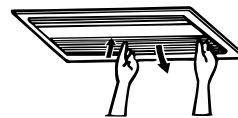
- 中央パネルの開口側を閉じた状態で、②引掛側の段差を持ち上げながら、③引掛側にスライドさせて固定します。
※中央パネルは両端のフックに近い位置を持ち、片方ずつ固定してください。



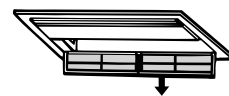
6 フィルターの確認
●両方の吸込口からフィルターのツマミがはずれていないことを確認してください。はずれている場合はツマミを持って押し込み、フィルターのツマミを入れます。

天井カセット形 1方向吹出し小形タイプ

1 吸込口を開ける
●吸込口中央および左右の「おす」部分を押し、吸込口を開けてください。



2 エアフィルターを一度持ち上げて下方へ取り出す

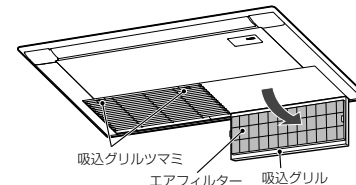


お願い

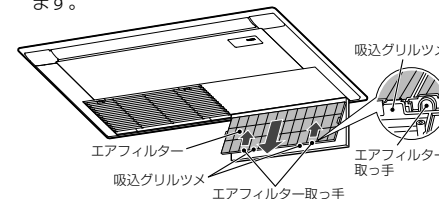
- 天井カセット形 1方向吹出し小形タイプのエアフィルターは所定の位置に必ず確実に入れてください。

天井カセット形 1方向吹出しタイプ

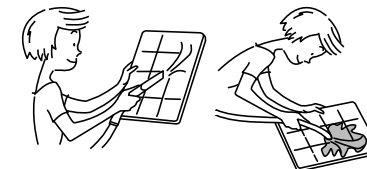
1 吸込グリルを開ける
●吸込グリルの「ツマミ」を持って後側に押し(開 OPEN)、しずかに開きます。



2 エアフィルターを取り出す
●エアフィルターの取手を押し、吸込グリルのツマミをはずします。エアフィルターを手前に引くと取り出せます。



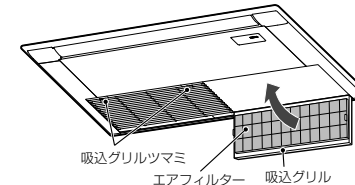
3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする
●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。



- 水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

4 エアフィルターを取り付ける

5 吸込グリルを閉じる
●吸込グリルを閉じ、「ツマミ」を手前側にスライドさせて確実に固定してください。



お手入れ (つづき)

お手入れをするときは必ず手元電源スイッチを切つてから行ってください。

天井埋込形ビルトインタイプ

⚠ 注意

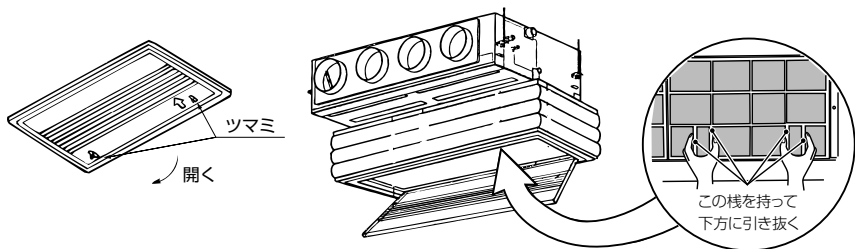
パネルの落下防止用ひもを取りはずして掃除を行った場合は、掃除終了後、パネルの落下防止用ひもを必ず取り付け

落下によりけがの原因になります。



掃除する

- 吸込パネルの「ツマミ」を ⇨ 印方向にスライドさせて下方に開きます。本体下部のレバーを回転させてエアフィルターを取り出します。



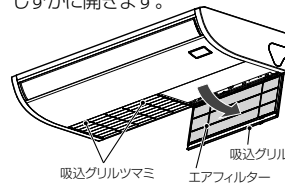
天井埋込形ダクトタイプ

- 取り付けられたエアフィルターの種類により掃除のしかたが異なります。工事をされた方、または、お買い上げの販売店にお確かめください。

天井吊形

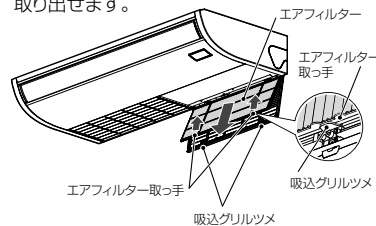
1 吸込グリルを開ける

- 吸込グリルの「ツマミ」を後側 (開 OPEN) にスライドさせ (2カ所)、吸込グリルを持ってしずかに開きます。



2 エアフィルターを取り出す

- エアフィルターの取っ手を押し、吸込グリルツマミからはずします。エアフィルターを手前に引くと取り出せます。



3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする

- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

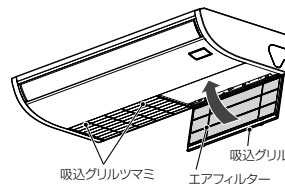


- 水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

4 エアフィルターを取り付ける

5 吸込グリルを閉じる

- 吸込グリルを閉じ、「ツマミ」を手前側 (閉 CLOSE) にスライドさせて確実に固定してください。



6 [フィルター] を押す

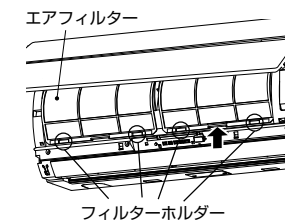
- 「フィルター」表示が消えます。

壁掛形

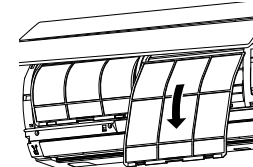
1 前面パネルをあける



2 エアフィルターの左右のツマミをつかんで、それを少し上にあげる

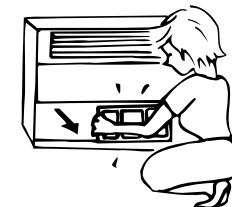


3 フィルターを下方に引き出す



床置形サイドタイプ

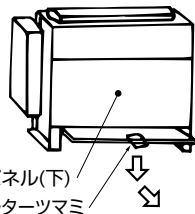
1 吸込口上部を下に少し押し下げ、手前に引いてははずす



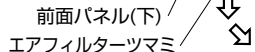
2 内側にあるエアフィルターを取り出す

床置形ローボーイ埋込タイプ

1 前面パネル(下)のエアフィルターツマミを downward に下げる



2 手前に引いてエアフィルターを取り出す

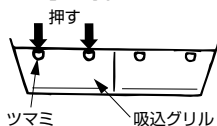


- 掃除機をお使いになるか軽くたたいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。
- 洗ったあとは、よくすすぎ日陰で乾かしてください。
- お手入れの済んだエアフィルターをもとどおり取り付けてください。

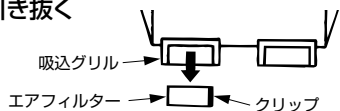


天井吊形厨房用

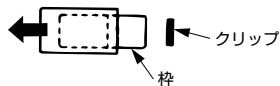
1 吸込グリルのツマミを手で押して吸込グリルを開く



2 エアフィルター組立を吸込グリルの枠から引き抜く



3 クリップをはずし、エアフィルターから枠を引き出して新しい交換用のエアフィルターを取り付ける



4 吸込グリルの枠にエアフィルター組立を差し込む

5 吸込グリルを閉じて元通りにします。吸込グリルがツマミで確実に支えられていることを確認する

床置形スタンドタイプ

1 エアフィルターの取り出しと取り付けかた

- エアフィルターを手前下へ引き出してください。



- 取り付けは本体に差し込んだ後、エアフィルターを押し込み入れます。

2 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする

- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。



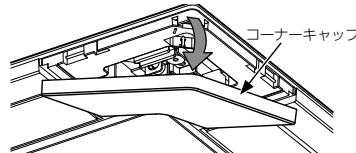
- 水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

吹出フラップの掃除

天井カセット形 4 方向吹出しタイプ

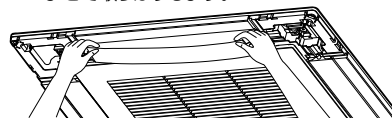
吹出フラップが汚れた場合、取りはずして掃除することができます。

1 コーナーキャップをはずす



2 吹出フラップをはずす

- 吹出しフラップの両端を持ち、中央を下にたわませて取りはずします。



3 やわらかい布でからぶきする

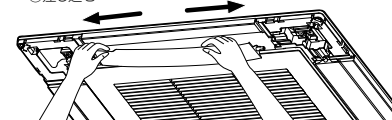
- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。



4 吹出フラップを取り付ける

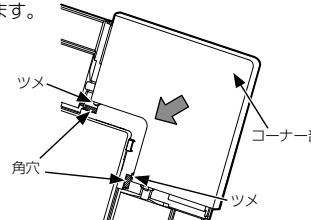
- 片側を先に押し込み、中央部を下にたわませながら反対側を差し込みます。

①差し込む ②中央部をたわませて差し込む



5 コーナーキャップを取り付ける

- ツメ (2カ所) を先に差し込むように矢印方向に押し込み、コーナー部をカチッというまで押して、コーナーキャップのコーナー部を押して取り付けます。



冷房シーズン前には

●ドレン皿のお掃除

⚠ 注意

ドレン皿を掃除する

ドレン皿にゴミがつまり、水があふれて天井や床をぬらす原因になります。



掃除する

●抗菌ガラスの交換

抗菌ガラスは消耗品です。交換の目安は、一般的な冷房運転下において約 10,000 時間です (冷房運転を毎日 10 時間・5 ヶ月間使用した場合、年間では 1,500 時間となります。気化式加湿器 (別売部品) をご使用の場合は、暖房運転時間も加味してください)。交換には別売の抗菌ガラス付ドレンキャップ「TCB-DCG31U」をご使用ください。

●お願い

ドレン皿の掃除または抗菌ガラスの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。抗菌ガラスの交換時期の目安にするため、下記表に据付日をご記入ください。また、交換した際には、交換日をご記入ください

据付日	年	月	日
交換日(1回目)	年	月	日
交換日(2回目)	年	月	日

●お願い

天井カセット形 4 方向吹出しタイプ

●熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。

強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、機能が低下するおそれがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れ (つづき)

本体・リモコンのお掃除

- やわらかい布でからぶきしてください。



- 本体の汚れがひどい場合は、ぬるま湯を湿らせた布で汚れをふきとってください (リモコンは水を使わず、からぶきしてください)
- ベンジン・シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどは変形したり割れたりする原因になりますのでお使いにならないでください。



一か月以上使わないとき

- 半日ほど送風運転をして内部をよく乾燥させます。
- 手元電源スイッチを切ってください。
- エアフィルターを掃除してもとどおりに取り付けます。



据付について

〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量および、その二酸化炭素換算値は「仕様」の項目に記載しています。その二酸化炭素換算値は、接続されている室外機や接続室内ユニット台数、接続配管長さにより異なります。システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。

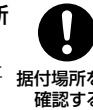


据付場所について

⚠ 注意

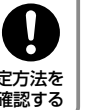
可燃性ガスの漏れるおそれのない場所に設置されているか確認する

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。



室外ユニットが基礎に固定されているか確認する

基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。



固定方法を
確認する

- 室外ユニットの吸込口、吹出口の周囲は十分あけて、通風を妨げるような障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 強い風が室外ユニットの吸込口、吹出口に向かって吹き付けるおそれのあるところは、さけてください。
- 室外ユニットから出る除湿水は、水はけのよいところに排水してください。
- 室内ユニットにエアフィルターが取り付けられているか確認してください。エアフィルターが取り付けられていませんと、エアコン内の熱交換器などにホコリがつまり水漏れの原因になることがあります。
- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオを1m以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。
- エアコンの吹出口は火災報知器より1.5m以上離して設置してください。火災発生時に火災報知器の作動が遅れる、または検出できない場合があります。
- 降雪地区でご使用の場合は、室外ユニットに防雪架台・防雪フードなどを取り付けてください。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに障害物を置きますと、運転音増大のもとになることがあります。
- 室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

次のような場所はさけてください

- 海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところ
- 酸性またはアルカリ性雰囲気の場合 (温泉地帯、化学薬品工場、すし酢など酸性雰囲気や直接吸い込む場所、燃焼機の排気を吸込む場所など) 熱交換器 (アルミフィン、銅パイプ) などに腐食を起こす恐れがあります。
- 切削油などの機械油の立込める雰囲気の場合 熱交換器の腐食、熱交換器目づまりによる霧の発生、フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損、ヒーターの故障、断熱材のはがれなどを起こす恐れがあります。
- 食用油煙が発生する場所 (食用油を使用する厨房、焼肉・お好み焼き店など) フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こす恐れがあります。
- 金属粉などの粉塵が発生する場所には据え付けしないでください。 金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。
- 吹き出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所には据え付けしないでください。 気流の乱れにより、能力低下や機器の停止の恐れがあります。
- 電源に自家発電装置を使用している場所 電源周波数、電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車、船舶など移動するもの
- 特殊用途 (食品・動植物・精密機器・美術品の保存など) では使用しないこと 保存物の品質などに損害の恐れがあります。

据付について (つづき)

- 高周波の発生する機器（インバータ機器、自家発電機、医療機器、通信機器）がある場所 エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じる恐れがあります。
- 据え付けた下に、濡れては困るものがある場所
湿度 80%以上のときやドレン口が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。
- 有機溶剤を使用している場所
- ドアまたは窓の近くで高湿度の外気と接する恐れのある場所（結露する恐れがあります）
- 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
- 液化炭酸冷却など化学プラントには使用できません。

電気配線

警告

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する

注意

漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取り付けが必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。



漏電遮断器
を確認する

- 正しい容量のヒューズを使用する
- 針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。



正しい容量の
ヒューズを使用する

知っておいていただきたいこと

運転前の確認

- 運転を開始する 12 時間以上前に手元電源スイッチを入れます。
- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- 室内ユニットにエアフィルターを付け忘れていないか確認します。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具との併用をおすすめします。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外ユニットに霜がついた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転（約 2 ～ 10 分間）になります。
- 除霜運転中は、室内ユニットの送風機は停止します。

3 分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、手元電源スイッチを入れたときには約 3 分間、室外ユニットは運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは 運転 / 停止 ボタンを押しなおしてください。

停止ユニットのファン回転について

- 冷房・暖房運転時は停止している室内ユニットでも、他の室内ユニットが運転中の場合は機械保護のため約 1 時間に 1 回、数分間ファンが回転する場合があります。また、室内ユニットのタイプによって吹出フラップが動作します。（室内ユニットのタイプにより、ファン・フラップの動作が異なります。）

吸込口の下や近くで火気を使わないで

- エアコンの吸込口にはオイルミストフィルターを取り付けています。真下で炎が出ますとフィルターについている油に引火するおそれがあります。（天井吊形厨房用だけ）

保護装置（高圧スイッチ）について

エアコンに無理がかかったときに自動的に運転を停止させる装置です。保護装置が作動した場合、運転が停止し運転ランプが点滅します。保護装置が作動した場合はリモコン表示部の「点検」の文字と点検コードが表示されます。次のようなときに保護装置がはたらくことがあります。

冷房運転中

- 室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外ユニットの吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- 室内ユニットのエアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吹出口がふさがれているとき。

保護装置が作動した場合は、手元電源スイッチを切り原因を取り除いてからもう一度運転しなおしてください。

パッケージエアコンの冷房・暖房運転について

- パッケージエアコンでは室内ユニットごとに個別制御できますが、同じ室外ユニットに取り付けられた室内ユニットでは冷房運転と暖房運転を同時に行うことはできません。同時に運転を行ったときは、冷房運転をしている室内ユニットは停止し、操作部の「運転準備」が点灯します。暖房運転している室内ユニットはそのまま運転します。エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されている場合、設定以外の運転はできません。設定以外の運転を行ったときは、操作部の「運転準備」が点灯して運転を停止します。

暖房運転の特性

- 運転開始時すぐに風は出てきません。3 ～ 5 分後（室内、室外の温度により前後します）、室内熱交換器が暖まってから温風が吹き出します。
- 運転中、外気温が高くなると室外ユニットが停止することがあります。
- 同じ室外ユニットに取り付けられた室内ユニットでは、暖房運転と送風運転を同時に行うことはできません。同時に運転を行ったときは、送風運転をしている室内ユニットは停止し、操作部の「運転準備」が点灯します。

上手な使いかた

電気代の節約と快適な冷暖房運転をしていただくために

エアフィルターの掃除はこまめに

- エアフィルターが目づまりすると、冷暖房効果が下がります。



窓や戸はこまめに閉めて

- 冷風・温風がお部屋から逃げないようにしてください。



冷やしすぎ、暖めすぎないように

警告

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにする

体調悪化・健康障害の原因になります。禁止

- 健康上よくありません。特に身体の不自由な方や、お子様、お年寄りには注意してあげましょう。

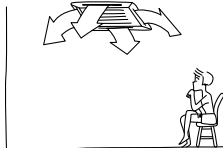
●おすすめの設定温度

冷房	26 ~ 28℃
暖房	22 ~ 24℃



室温がムラのないように

- 吹出フラップで風向を調節してください。また吹き出した風に直接長時間当たりますと、お体によくありません。



運転可能温度範囲

エアコンを正しく使っていただくために、下表の条件で運転してください。この条件以外の温度で運転されますと、保護装置がはたらき、運転できない場合があります。

冷房運転	外気の乾球温度	-5℃以上 50℃以下
	部屋の湿度	21℃以上 32℃以下
暖房運転	外気の湿球温度	<標準タイプ> -25℃以上 15℃以下 <寒冷地タイプ> -27℃以上 15℃以下
	部屋の温度	28℃以下

お願い

運転を開始する 12 時間以上前にエアコン用電源スイッチを入れてください。また、使用期間中はエアコンの異常時、点検時以外は、電源を切らないでください。(圧縮機保護のため、200V 電源からケースヒータや圧縮機に通電しています。)

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

	症状	原因
故障ではありません	室外ユニット <ul style="list-style-type: none"> ●白い霧状の冷気や水が出る ●時々“プシュ”という音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動的に室外ユニットの送風機が停止し霜取りを行っているためです。 ●霜取り運転開始および終了時に電磁弁が作動する音です。
	室内ユニット <ul style="list-style-type: none"> ●時々“シュー”という音がする ●“ピシッ”という小さな音がする ●吹き出す風が臭う ●「運転準備」表示が点灯している 	<ul style="list-style-type: none"> ●運転開始時や運転中、停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後2～3分間運転音が大きくなる場合がありますが、これは冷媒の流れる音や除湿水の排水音です。 ●これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。 ●壁やじゅうたん、家具、衣類、タバコ、化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着するためです。 ●別の室内ユニットが暖房運転しているため、冷房運転または送風運転できないとき。 ●外気温度が運転可能範囲外ではありませんか。(19 ページ参照)
もう一度お調べください	●「運転切換管理中」表示が点灯している ●「暖房準備」表示が点灯している ●停止中の室内ユニットから音や白い蒸気または、冷気が出る ●エアコンの電源を入れたときに“カチカチ”という音がする ●リモコンの液晶部に触れると液晶表示部がこじむ ●停止中の室内ユニットのフラップやファンが動く	<ul style="list-style-type: none"> ●エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されていて、指定と逆の運転をしたとき。 ●冷風の吹き出しを防止するために送風を停止したとき。 ●室外ユニットが霜取りを行っているとき。 ●停止中の室内ユニットに油や冷媒が滞留するのを防ぐため、一時的に冷媒を流していますので「シャー」「キュルキュル」などの冷媒の流れる音や、他の室内ユニットが暖房運転のときには白い蒸気、冷房運転のときには冷気が出る場合があります。 ●電源を入れたときに膨張弁が動作する音です。 ●静電気により一時的に液晶表示部がこじむ場合があります。 ●マルチシステムでは停止ユニットの冷媒回収制御を行っており、フラップが開きファンを間欠運転することがあります。
	●リモコンの表示が「---」になってしまい、操作ができない(左図の状態)	<ul style="list-style-type: none"> ●機器が点検状態になっています。解除するには 点検 ボタンを押してください。 ●リモコン表示の「設定中」の点検が消えた後にボタンを押して運転を再開させてください。
自動的に運転したり停止する		●タイマーが「入」「切」になっていませんか。
運転しない		<ul style="list-style-type: none"> ●停電ではありませんか。 ●手元電源スイッチが切れていませんか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●保護装置が作動していませんか。(運転ランプは点灯している) ●タイマーが「入」になっていませんか。(運転ランプは点灯している) ●冷房と暖房を同時に選択していませんか。(リモコン表示部の「運転準備」表示が点灯します) ●外気温度が運転可能範囲外ではありませんか。(19 ページ参照)

	症状	原因
もう一度お調べください	よく冷えない よく暖まらないとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●エアフィルターにホコリやゴミがつかっていませんか。 ●室内ユニットの吹出フラップが適正な位置になっていますか。 ●風量切換が「弱風」「強風」または運転切換が「送風」になっていませんか。 ●設定温度が適正な温度になっていますか。 ●冷房と暖房を同時に選択していませんか。(リモコン表示部の「運転準備」表示が点灯します) ●外気温度が運転可能範囲外ではありませんか(19ページ参照)

次の症状のときはただちに運転を中止し、手元電源スイッチを切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- スイッチの作動が不確実なとき
- ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- 保護装置の作動原因(18ページ)を取り除いても運転できないとき
- その他いつもと違う状態のとき

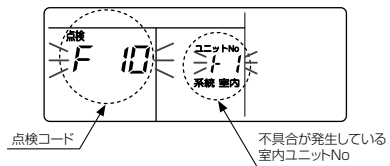
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニット No が表示されます。

点検コードは、運転中にだけ表示されます。

表示が消えてしまった場合は、下記の「故障履歴の確認」に従って操作し確認してください。



故障履歴の確認

エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。(故障履歴は4つまでメモリされます。)

運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

手順	操作内容
①	<p>「セット」+「点検」ボタンを4秒以上同時に押し、しばらくして表示部が図のように表示されます。表示部に「サービスチェック」が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目コードに、[01:故障履歴の順番]が表示されます。 ・点検に[点検コード]が表示されます。 ・ユニットNoに[不具合が発生している室内ユニットNo.]が表示されます。
②	<p>設定温度の「▲/▼」ボタンを押すことで、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。項目コードは、項目コード[01](最新) → 項目コード[04](一番古い)を示します。</p> <p>お願い</p> <p>[取消]ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。</p>
③	確認できたら「点検」ボタンを押して通常表示に戻ります。

別売付属機器について

東芝パッケージエアコンには別売補助電気ヒーターをラインアップしている機種があります。これは東芝パッケージエアコン本体の付属品ではありませんから、ご入用のときは別途お買い求めをお願いします。

警告

別売品は必ず弊社指定の製品を使用すること

指定以外の製品を使用すると火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。

指定製品を使用する

東芝パッケージエアコン用補助電気ヒーター

冬季の暖房負荷は建物構造、お部屋の位置、出入口の開閉ひん度また使用される地域差などによって異なりますが、暖房能力を増やすために別売補助電気ヒーターを準備しております。(床置形サイドタイプだけ。)運転切換スイッチを「暖房」に合わせると補助電気ヒーターとエアコンが設定室温に合わせてコントロール運転をします。

お願い

- 別売補助電気ヒーターをご入用のときは、当エアコンをお買い上げいただきました販売店にご相談ください。別売補助電気ヒーターは専用の電気ヒーターとして厳重な検査のうえいつでもお届けできるよう準備されていますので必ず専用品をご指定ください。
- 補助電気ヒーターの取り付けは、電源保護装置取付工事など、電気工事士の資格を持った方の工事が必要です。
- 風量切換が「弱風」の場合、安全のため補助電気ヒーターは運転しません。

定期点検/簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。

定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
7.5kW以上 50kW未満	3年に1回以上
50kW以上	1年に1回以上

簡易点検は、四半期に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、または専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のにじみ ・機器のさすの有無、熱交換器の腐食、錆など
室内ユニット点検	<ul style="list-style-type: none"> ・熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視が出来る場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたならこれらの点検を行うとともに専門業者へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ: <http://www.env.go.jp/>

仕様〔室外ユニット〕

- 製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

標準タイプ・寒冷地タイプ

室外ユニット種類		インバータユニット 標準タイプ			インバータユニット 寒冷地タイプ	
室外ユニット形名 (MCY-MAP)		1601H,HZ,HZG	2241H,HZ,HZG	2801H,HZ,HZG	1601HN,HNZ,HNZG	2241HN,HNZ,HNZG
種類	機能	冷暖房兼用形				
	ユニット構成	分離式				
	凝縮器の冷却方法	空冷式				
	送風方式	直接吹出形				
電源		三相 200V 50/60Hz				
圧縮機電動機 定格出力 (kW)		4.30	5.56	8.96	4.19	5.56
外形寸法	高さ (mm)	1550				
	幅 (mm)	1010				
	奥行 (mm)	370				
総質量 (kg)		141	163			
騒音	音圧レベル (冷/暖)	51/53	59/62	63/65	54/56	59/62
冷媒 (R410A)		6.7	9.8			
二酸化炭素換算値 (トン)		14.1	20.5			
使用温度範囲	冷房運転 (乾球) (°C)	-5 ~ 50			-5 ~ 50	
	暖房運転 (湿球) (°C)	-25 ~ 15			-27 ~ 15	

- ・音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。
- ・地球温暖化係数 (GWP) R410A:2090

エネルギー消費効率に関する仕様一覧

標準タイプ・寒冷地タイプ

型式 (MCY-MAP)	区分名	定格冷房標準能力 kW	定格暖房標準能力 kW	最大暖房低温能力 kW	定格冷房標準消費電力 kW	定格暖房標準消費電力 kW	通年エネルギー消費効率 (APF)		音響パワーレベル (冷/暖) dB(A)
							2006	2015	
1601H,HZ,HZG	aj	16.0	18.0	15.5	5.50	5.13	5.4	5.8	69.0/71.0
2241H,HZ,HZG	ak	22.4	25.0	21.5	7.20	7.40	5.5	5.6	77.0/79.0
2801H,HZ,HZG	ak	28.0	31.5	25.0	11.83	9.93	5.1	5.1	81.0/82.0
1601HN,HNZ,HNZG	aj	16.0	18.0	17.0	4.50	4.90	5.3	5.5	71.0/73.0
2241HN,HNZ,HNZG	ak	22.4	25.0	24.0	7.20	7.40	5.5	5.5	77.0/79.0

区分名

下記表はエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく、経済産業省告示第269号(平成25年度)による区分を示す。

冷房能力	区分名
10.0kW未満	ai
10.0kW以上 20.0kW未満	aj
20.0kW以上 40.0kW未満	ak
40.0kW以上 50.4kW未満	al

冷房・暖房能力および電気特性は JIS B 8615-1 条件

(冷房時：室内側 27°CDB / 19°CWB 室外側 35°CDB 暖房時：室内側 20°CDB 室外側 7°CDB / 6°CWB、暖房低温時：室内側 20°CDB 室外側 2°CDB / 1°CWB) のときの値です。なお、室内ユニットは天井カセット形 4 方向吹出しを 100% 接続時 (組み合わせの室内ユニットをすべて接続した場合) の値です。

- ・通年エネルギー消費効率 (APF) 2006 は JIS B 8616:2006 「パッケージエアコンディショナ」で運転した値です。
- ・通年エネルギー消費効率 (APF) 2015 は AP2245H (R) ~ AP5605H (R) は JIS B 8616:2015 「パッケージエアコンディショナ」、AP6155H (R) 以上は JRA4002:2013 に基づいて運転した値です。
- ・音響パワーレベルは、直吹き室外機は JIS C 9815-1、直吹き室内ユニットは JIS C 9815-2、ダクト接続形は JIS B 8616:2015 に基づいて測定した値です。

仕様 (室内ユニット)

天井カセット形 4方向吹出しタイプ

室内ユニット形名		MMU-AP287H	MMU-AP367H	MMU-AP457H	MMU-AP567H	MMU-AP717H
種類	機能	冷暖房兼用形				
	ユニット構成	分離形				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出形				
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)				
性能	定格冷房能力 (kW)	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1
	暖房標準能力 (kW)	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	30	31	32	36
		強+ (dB(A))	29	30	31	34
		強 (dB(A))	28	29	30	31
		弱+ (dB(A))	27	27	29	30
		弱 (dB(A))	26	26	26	27
		音響パワーレベル ※2	急 (dB(A))	45	46	47
	強+ (dB(A))	44	45	46	49	
	強 (dB(A))	43	44	45	46	
	弱+ (dB(A))	42	42	43	45	
	弱 (dB(A))	42	42	42	43	
	総質量 (kg)		18		20	
	外形寸法	高さ (mm)	256			
幅 (mm)		840				
奥行 (mm)		840				
天井パネル形名		RBC-U41PG(W),(C),(N),(K), RBC-UA41PG(W),(K), RBC-UP41PG(W)				
二酸化炭素換算値 (トン)		6.5	8.3	10.4	12.9	16.4

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- ・地球温暖化係数 (GWP) R410A: 2090

室内ユニット形名		MMU-AP807H	MMU-AP907H	MMU-AP1127H	MMU-AP1407H	MMU-AP1607H	
種類	機能	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	凝縮器の冷却方式	空冷式					
	送風方式	直接吹出形					
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)					
性能	定格冷房能力 (kW)	8.0	9.0	11.2	14.0	16.0	
	暖房標準能力 (kW)	9.0	10.0	12.5	16.0	18.0	
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	38	38	45	46	46
		強+ (dB(A))	36	36	41	43	43
		強 (dB(A))	32	33	38	39	40
		弱+ (dB(A))	31	32	36	37	38
		弱 (dB(A))	27	28	32	33	35
		音響パワーレベル ※2	急 (dB(A))	53	53	60	61
	強+ (dB(A))	51	51	56	57	58	
	強 (dB(A))	47	48	53	54	55	
	弱+ (dB(A))	46	47	50	52	53	
	弱 (dB(A))	43	44	48	49	51	
	総質量 (kg)		20		25		
	外形寸法	高さ (mm)	256				
幅 (mm)		840					
奥行 (mm)		840					
天井パネル形名		RBC-U41PG(W),(C),(N),(K), RBC-UA41PG(W),(K), RBC-UP41PG(W)					
二酸化炭素換算値 (トン)		18.4	20.7	25.8	32.2	36.8	

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- ・地球温暖化係数 (GWP) R410A: 2090

天井カセット形 2方向吹出しタイプ

室内ユニット形名		MMU-AP224WH	MMU-AP284WH	MMU-AP364WH	MMU-AP454WH	MMU-AP564WH	MMU-AP714WH
種類	機能	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	凝縮器の冷却方式	空冷式					
	送風方式	直接吹出形					
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)					
性能	定格冷房能力 (kW)	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1
	暖房標準能力 (kW)	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	34			35	
		強 (dB(A))	32			33	
		弱 (dB(A))	30			30	
	音響パワーレベル ※2	急 (dB(A))	49			50	
		強 (dB(A))	47			48	
		弱 (dB(A))	45			45	
総質量 (kg)		19			26		
外形寸法	高さ (mm)	295				345	
	幅 (mm)	815				1180	
	奥行 (mm)	570					
天井パネル形名		RBC-UW283PG (W)				RBC-UW803PG (W)	
二酸化炭素換算値 (トン)		5.1	6.5	8.3	10.4	12.9	16.4

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- ・地球温暖化係数 (GWP) R410A: 2090

室内ユニット形名		MMU-AP804WH	MMU-AP904WH	MMU-AP1124WH	MMU-AP1404WH	MMU-AP1604WH	
種類	機能	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	凝縮器の冷却方式	空冷式					
	送風方式	直接吹出形					
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)					
性能	定格冷房能力 (kW)	8.0	9.0	11.2	14.0	16.0	
	暖房標準能力 (kW)	9.0	10.0	12.5	16.0	18.0	
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	38	40	42	43	46
		強 (dB(A))	35	37	39	40	42
		弱 (dB(A))	33	34	36	37	39
	音響パワーレベル ※2	急 (dB(A))	53	55	57	58	61
		強 (dB(A))	50	52	54	55	57
		弱 (dB(A))	48	49	51	52	54
総質量 (kg)		26			36		
外形寸法	高さ (mm)	345			1600		
	幅 (mm)	1180			1600		
	奥行 (mm)	570					
天井パネル形名		RBC-UW803PG (W)			RBC-UW1403PG (W)		
二酸化炭素換算値 (トン)		18.4	20.7	25.8	32.2	36.8	

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- ・地球温暖化係数 (GWP) R410A: 2090

仕様〔室内ユニット〕(つづき)

天井カセット形 1 方向吹出しタイプ

室内ユニット形名		MMU-AP284YH	MMU-AP364YH
種類	機能	冷暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出形	
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)	
性能	定格冷房能力 (kW)	2.8	3.6
	暖房標準能力 (kW)	3.2	4.0
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	42
		強(dB(A))	39
		弱(dB(A))	34
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	57
		強(dB(A))	54
		弱(dB(A))	49
総質量 (kg)		22	
外形寸法	高さ (mm)	235	
	幅 (mm)	850	
	奥行 (mm)	400	
天井パネル形名		RBC-UY253PG (W) -1	
二酸化炭素換算値 (トン)		6.5	8.3

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

室内ユニット形名		MMU-AP454SH	MMU-AP564SH	MMU-AP714SH
種類	機能	冷暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方式	直接吹出形		
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)		
性能	定格冷房能力 (kW)	4.5	5.6	7.1
	暖房標準能力 (kW)	5.0	6.3	8.0
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	37	45
		強(dB(A))	35	41
		弱(dB(A))	32	37
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	52	60
		強(dB(A))	50	56
		弱(dB(A))	47	52
総質量 (kg)		21		
外形寸法	高さ (mm)	200		
	幅 (mm)	1000		
	奥行 (mm)	710		
天井パネル形名		RBC-US21PG (W) -1		
二酸化炭素換算値 (トン)		10.4	12.9	16.4

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

天井埋込形ビルトインタイプ

室内ユニット形名		MMD-AP224BH	MMD-AP284BH	MMD-AP364BH	MMD-AP454BH	MMD-AP564BH
種類	機能	冷暖房兼用形				
	ユニット構成	分離形				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	ダクト吹出形				
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)				
性能	定格冷房能力 (kW)	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6
	暖房標準能力 (kW)	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	37	38	39	40
		強(dB(A))	34	35	36	37
		弱(dB(A))	31	32	32	33
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	52	53	54	55
		強(dB(A))	49	50	51	52
		弱(dB(A))	46	47	47	48
総質量 (kg)		27			30	
外形寸法	高さ (mm)	320				
	幅 (mm)	550			700	
	奥行 (mm)	800				
天井パネル形名		RBC-UD281P (W) -1			RBC-UD501P (W) -1	
二酸化炭素換算値 (トン)		5.1	6.5	8.3	10.4	12.9

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

室内ユニット形名		MMD-AP714BH	MMD-AP804BH	MMD-AP904BH	MMD-AP1124BH	MMD-AP1404BH	MMD-AP1604BH	
種類	機能	冷暖房兼用形						
	ユニット構成	分離形						
	凝縮器の冷却方式	空冷式						
	送風方式	ダクト吹出形						
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)						
性能	定格冷房能力 (kW)	7.1	8.0	9.0	11.2	14.0	16.0	
	暖房標準能力 (kW)	8.0	9.0	10.0	12.5	16.0	18.0	
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	40	41	42	44		
		強(dB(A))	37	38	39	41		
		弱(dB(A))	34	35	36	38		
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	55	56	57	59		
		強(dB(A))	52	53	54	56		
		弱(dB(A))	49	50	51	53		
総質量 (kg)		39			51			
外形寸法	高さ (mm)	320						
	幅 (mm)	1000				1350		
	奥行 (mm)	800						
天井パネル形名		RBC-UD801P (W) -1			RBC-UD1401P (W) -1			
二酸化炭素換算値 (トン)		16.4	18.4	20.7	25.8	32.2	36.8	

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

仕様〔室内ユニット〕(つづき)

天井埋込形ダクトタイプ

室内ユニット形名		MMD-AP564H	MMD-AP714H	MMD-AP804H
種類	機能	冷暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方式	ダクト吹出形		
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)		
性能	定格冷房能力 (kW)	5.6	7.1	8.0
	暖房標準能力 (kW)	6.3	8.0	9.0
騒音※3	音圧レベル ※1 急(dB(A))	37	40	
	音響パワーレベル ※2 急(dB(A))	60	63	
外形寸法	総質量 (kg)	50	52	
	高さ (mm)		380	
	幅 (mm)		850	
	奥行 (mm)		660	
二酸化炭素換算値 (トン)		12.9	16.4	18.4

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

・地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

※3 騒音値は、出荷時機外静圧137Pa、標準風量時の値です。

室内ユニット形名		MMD-AP1124H	MMD-AP1404H
種類	機能	冷暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	ダクト吹出形	
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)	
性能	定格冷房能力 (kW)	11.2	14.0
	暖房標準能力 (kW)	12.5	16.0
騒音※3	音圧レベル ※1 急(dB(A))	40	40
	音響パワーレベル ※2 急(dB(A))	63	63
外形寸法	総質量 (kg)	56	67
	高さ (mm)		380
	幅 (mm)	850	1200
	奥行 (mm)	660	
二酸化炭素換算値 (トン)		25.8	32.2

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

・地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

※3 騒音値は、出荷時機外静圧137Pa、標準風量時の値です。

天井吊形

室内ユニット形名		MMC-AP458H	MMC-AP568H	MMC-AP718H	MMC-AP808H	MMC-AP908H	MMC-AP1128H	MMC-AP1408H	MMC-AP1608H	
種類	機能	冷暖房兼用形								
	ユニット構成	分離形								
	凝縮器の冷却方式	空冷式								
	送風方式	直接吹出形								
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)								
性能	定格冷房能力 (kW)	4.5	5.6	7.1	8.0	9.0	11.2	14.0	16.0	
	暖房標準能力 (kW)	5.0	6.3	8.0	9.0	10.0	12.5	16.0	18.0	
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	36	37	41	41	42	44	44	46
		強+(dB(A))	35	36	38	38	39	39	42	43
		強(dB(A))	34	35	36	36	37	38	41	42
		弱+(dB(A))	29	30	31	31	32	33	36	37
		弱(dB(A))	28	28	29	29	30	32	35	36
		急(dB(A))	51	52	56	56	57	59	59	61
	音響パワーレベル ※2	急+(dB(A))	50	51	53	53	54	54	57	58
		強(dB(A))	49	50	51	51	52	53	56	57
		強+(dB(A))	44	45	46	46	47	48	51	52
		弱+(dB(A))	43	43	44	44	45	47	50	51
		弱(dB(A))								
		急(dB(A))								
総質量 (kg)		24			30			37		
外形寸法	高さ (mm)				235					
	幅 (mm)	950		1270			1586			
	奥行 (mm)	690								
	二酸化炭素換算値 (トン)	10.4	12.9	16.4	18.4	20.7	25.8	32.2	36.8	

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

・地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

壁掛形

室内ユニット形名		MMK-AP286H	MMK-AP366H	MMK-AP456H	MMK-AP566H	MMK-AP716H	
種類	機能	冷暖房兼用形					
	ユニット構成	分離形					
	凝縮器の冷却方式	空冷式					
	送風方式	直接吹出形					
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)					
性能	定格冷房能力 (kW)	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1	
	暖房標準能力 (kW)	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0	
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	37	37	41	41	46
		強+(dB(A))	34	34	40	40	43
		強(dB(A))	32	32	36	36	39
		弱+(dB(A))	29	29	35	35	38
		弱(dB(A))	28	28	33	33	34
		急(dB(A))	52	52	56	56	61
	音響パワーレベル ※2	急+(dB(A))	49	49	55	55	58
		強(dB(A))	47	47	51	51	54
		強+(dB(A))	44	44	50	50	53
		弱+(dB(A))	43	43	48	48	49
		弱(dB(A))					
		急(dB(A))					
総質量 (kg)		14		15		15	
外形寸法	高さ (mm)				320		
	幅 (mm)	1050					
	奥行 (mm)	228					
	二酸化炭素換算値 (トン)	6.5	8.3	10.4	12.9	16.4	

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

・地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

仕様〔室内ユニット〕(つづき)

床置形サイドタイプ

室内ユニット形名		MML-AP284H	MML-AP454H	MML-AP714H
種類	機能	冷暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方式	直接吹出形		
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)		
性能	定格冷房能力 (kW)	2.8	4.5	7.1
	暖房標準能力 (kW)	3.2	5.0	8.0
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	49	44
		強(dB(A))	37	41
		弱(dB(A))	35	38
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	54	60
		強(dB(A))	52	56
		弱(dB(A))	50	53
総質量 (kg)		37		
外形寸法	高さ (mm)	630		
	幅 (mm)	950		
	奥行 (mm)	230		
	二酸化炭素換算値 (トン)	6.5	10.4	16.4

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

床置形ローボーイ埋込タイプ

室内ユニット形名		MML-AP284BH	MML-AP364BH	MML-AP454BH	MML-AP564BH	MML-AP714BH
種類	機能	冷暖房兼用形				
	ユニット構成	分離形				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	ダクト吹出形				
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)				
性能	定格冷房能力 (kW)	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1
	暖房標準能力 (kW)	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	36			42
		強(dB(A))	34			37
		弱(dB(A))	32			33
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	54			60
		強(dB(A))	52			55
		弱(dB(A))	50			51
総質量 (kg)		21		29		
外形寸法	高さ (mm)	600				
	幅 (mm)	745				
	奥行 (mm)	220				
	二酸化炭素換算値 (トン)	6.5	8.3	10.4	12.9	16.4

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

天井吊形厨房用

室内ユニット形名		MMC-AP804PH	MMC-AP1404PH
種類	機能	冷暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出形	
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)	
性能	定格冷房能力 (kW)	8.0	14.0
	暖房標準能力 (kW)	9.0	16.0
騒音	音圧レベル ※1	急(dB(A))	53
		強(dB(A))	47
		弱(dB(A))	44
	音響パワーレベル ※2	急(dB(A))	62
		強(dB(A))	59
		弱(dB(A))	56
総質量 (kg)		47	
外形寸法	高さ (mm)	300	
	幅 (mm)	1200	
	奥行 (mm)	650	
	二酸化炭素換算値 (トン)	18.4	32.2

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

床置形スタンドタイプ

室内ユニット形名		MMF-AP456H	MMF-AP566H	MMF-AP716H	MMF-AP806H	MMF-AP1126H	MMF-AP1406H	MMF-AP1606H
種類	機能	冷暖房兼用形						
	ユニット構成	分離形						
	凝縮器の冷却方式	空冷式						
	送風方式	直接吹出形						
電源		単相 200V 50/60Hz (室内専用電源)						
性能	定格冷房能力 (kW)	4.5	5.6	7.1	8.0	11.2	14.0	16.0
	暖房標準能力 (kW)	5.0	6.3	8.0	9.0	12.5	16.0	18.0
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	46		49	51	54	
		強+(dB(A))	44		47	49	51	
		強 (dB(A))	42		45	46	49	
		弱+(dB(A))	39		43	44	46	
		弱 (dB(A))	37		39	41	44	
		急 (dB(A))	61		64	66	69	
	音響パワーレベル ※2	強+(dB(A))	59		62	64	66	
		強 (dB(A))	57		60	61	64	
		弱+(dB(A))	54		58	59	61	
		弱 (dB(A))	52		54	56	59	
総質量 (kg)		45		46		60		
外形寸法	高さ (mm)	1750						
	幅 (mm)	600						
	奥行 (mm)	210						
	二酸化炭素換算値 (トン)	10.4	12.9	16.4	18.4	25.8	32.2	36.8

※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616:2006 に準拠した測定方法です。

※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616:2015に基づいて測定した値です。

- 地球温暖化係数(GWP)R410A:2090

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

A series of horizontal dotted lines for writing.

保証とアフターサービス (必ずお読みください)


修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル

 0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 03-5326-5038 (通話料：有料)

FAX 045-461-3493 (通信料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。“点検記録簿”には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問合せください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：<http://www.jarac.or.jp/>

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、手元電源スイッチを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収する時は、フロン排出抑制法の規程にしたがってください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。

保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン	
形名		
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お名前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名	
電話番号	電話 ()

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地

SN:EH99956501-②